



後期基本計画策定のための 市民アンケート調査報告書

調査期間：2019年3月18日～4月10日

南アルプス市 総合政策部 政策推進課

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査仕様	2
4 回収結果	2
5 前回調査までの経緯と状況	3
6 結果の活用	3
7 報告書の見方	4
第2章 「市民アンケート調査」結果	5
1 基本属性	5
2 市民アンケート質問項目5年間の推移	9
3 分野別でみる調査結果	14
◇第2次総合計画の政策体系	14
◇グラフの表示	15
はじめに ～市の一体感	15
政策1 安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成	16
(1) 地域活動	16
(2) 市民参加	16
(3) 防災・防犯	17
(4) 自然・環境	18
政策2 とともに生き支えあうまちの形成	19
(1)多様性の尊重	19
(2)社会福祉	20

(3)子育て支援.....	21
(4)健康・医療.....	22
政策3 うるおいと活力のある快適なまちの形成.....	23
(1)農業・商業.....	23
(2)道路・交通.....	23
(3)都市計画・住環境.....	24
(4)水道.....	25
政策4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成.....	25
(1)生涯学習.....	25
(2)歴史・伝統文化.....	26
(3)教育.....	27
政策5 未来をひらく経営型行政運営の形成.....	28
(1) 行政サービス.....	28
(2)窓口・接遇.....	28
第3章 「公共交通に関する調査」結果.....	30
◆設問一覧.....	36

第2次南アルプス市総合計画 将来像

自然と文化が調和した幸せ創造都市 南アルプス

—魅力ある地域資源を活かした 自立のまち—

第1章 調査の概要

1 調査の目的

南アルプス市では、総合計画に基づき、総合的かつ計画的にまちづくりを推進しています。「市民アンケート調査」は、市の施策や事業に対する市民の満足度や、市民の日頃の行動・意識などを把握することで、総合計画策定のデータ収集と計画期間中の進捗管理を行い、さらに、行政サービスの改善につなげることを目的に実施します。

特に、令和元年度は“第2次総合計画”の中間期に当たることから、基本計画を見直し、後期基本計画を策定するための基礎データとします。

また、毎年調査を実施することにより、1年間の取組の成果や市民ニーズの変化を的確に捉え、必要とされる施策と事務事業を推進し、“第2次総合計画”の掲げる市の将来像『自然と文化が調和した幸せ創造都市 南アルプス—魅力ある地域資源を活かした 自立のまち—』の実現を目指します。

2 調査の内容

調査の内容は、総合計画の進捗管理を行うために継続した設問を基本としていますが、基本計画策定時を中心に、社会情勢の変化に応じた見直しを行っています。今回は、後期基本計画策定の基礎データとするため、内容を大幅に見直しました。また、コミュニティバスをはじめとする公共交通の取組に活用するため、単年の特別調査を行いました。

後期基本計画策定のための市民アンケート調査の内容は、次のとおりです。

設問項目	設問数	調査内容
属性調査	6	性別、年齢、家族構成、職業、居住地区、居住年数
市民アンケート調査	63	市の施策、事業や、日頃の生活などについて広く調査
合計	69	
※公共交通に関する調査	8	※公共交通施策に活用するため、特別調査を追加

◆ 設問一覧は、巻末(P36～38)に掲載

3 調査仕様

仕様項目	仕 様
調査地域	南アルプス市全域
調査対象者	市内に住民登録のある18歳以上の男女
調査基準日	平成31年3月1日
標本数	2,000人
抽出方法	層化無作為抽出 ※市内を6地区に分割し、平成31年2月1日の各地区の人口（母集団）の大きさに応じ標本数を配分し、住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成31年3月18日から平成31年4月10日まで

標本数の地区配分は、各地区の人口の大きさに応じて行っていますが、過疎地域である芦安地区の標本数が総人口の1%以上となるよう、調整しています。

※6地区の人口と標本数の配分

(人口:平成31年3月1日現在)

	八田	白根	芦安	若草	櫛形	甲西	計
人口(人)	7,101	19,675	287	13,253	18,859	12,630	71,805
構成比(%)	9.9	27.4	0.4	18.5	26.3	17.6	100.0
標本数(人)	197	543	25	366	520	349	2,000
構成比(%)	9.9	27.2	1.3	18.3	26.0	17.5	100.0

4 回収結果

有効回答	888 件	(44.4%)
------	-------	---------

※地区別有効回答

	八田	白根	芦安	若草	櫛形	甲西	記入無	合計
回収数(件)	81	234	11	162	228	159	13	888
構成比(%)	9.1	26.4	1.2	18.2	25.7	17.9	1.5	100.0
回収率(%)	41.1	43.1	44.0	44.3	43.8	45.6	-	44.4

5 前回調査までの経緯と状況

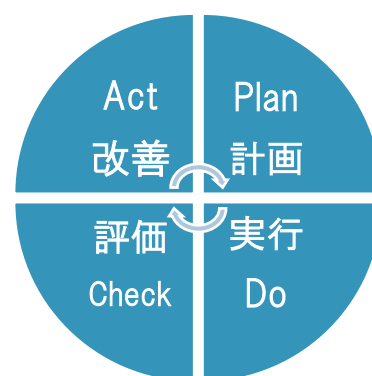
「市民アンケート調査」は、6町村が合併して南アルプス市が誕生した平成15年度に、“第1次総合計画”策定のためのデータ収集を目的として初めて実施し、以後、平成20年度まで隔年で実施、平成21年度からは、市民アンケートの結果を総合計画の進捗管理と行政評価に活用するため、毎年実施しています。

年度	市民アンケート調査						総合計画
	回	調査期間	標本数	調査項目 (属性調査含む)	有効回答	回収率	
平成15年度	第1回	平成15年10月6日～ 平成15年10月31日	2,000人	30項目	859件	43.0%	第1次総合計画策定
平成17年度	第2回	平成17年9月7日～ 平成17年9月28日	1,500人	68項目	631件	42.1%	第1次総合計画 後期基本計画策定
平成19年度	第3回	平成19年9月25日～ 平成19年10月19日	1,500人	87項目	670件	46.7%	
平成21年度	第4回	平成21年5月20日～ 平成21年6月8日	1,500人	117項目	616件	41.1%	
平成22年度	第5回	平成22年6月2日～ 平成22年6月21日	1,500人	68項目	586件	39.1%	
平成23年度	第6回	平成23年6月1日～ 平成23年6月20日	1,500人	79項目	592件	39.5%	
平成24年度	第7回	平成24年6月1日～ 平成24年6月18日	1,500人	74項目	657件	43.8%	
平成25年度	第8回	平成25年5月24日～ 平成25年6月10日	1,500人	75項目	643件	42.9%	
平成26年度	第9回	平成26年5月23日～ 平成26年6月9日	1,500人	79項目	633件	42.2%	第2次総合計画策定
平成27年度	第10回	平成27年5月22日～ 平成27年6月8日	1,500人	95項目	604件	40.3%	第2次総合計画
平成28年度	第11回	平成28年5月23日～ 平成28年6月6日	1,500人	95項目	621件	41.4%	
平成29年度	第12回	平成29年5月22日～ 平成29年6月5日	1,500人	95項目	622件	40.9%	
平成30年度	第13回	平成30年5月9日～ 平成30年5月23日	1,500人	95項目	602件	40.1%	

6 結果の活用

“第2次総合計画”の進捗状況を測る“まちづくり指標”に該当する項目を調査し、行政評価のデータとして活用することで、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）による進捗管理を行い、行政サービス改善の資料として活用します。

また、本報告書を継続的に公表することで、行政の透明性の確保を図ります。



7 報告書の見方

(1) 集計方法

- ◆ 本調査では、有効回答総数を集計した「単純集計」のほか、居住地区などの属性ごとに区分して集計した※「クロス集計」を行っています。

※「クロス集計」については、項目によっては有効回答数が少なく、本調査の結果では本市全体における傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

- ◆ 回答比率 (%) は、原則として、その設問の無回答者を含む回答者数を基数（有効回答）として算出しています。無回答者を含めない場合は、その旨記載していません。

(2) 数値の端数処理方法

本文及び図表の百分率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っています。したがって、合計数値が100%にならない場合や、内訳の合計や差が表示されている値と一致しない場合があります。

また、グラフの数値は、文中や他の図表の数値と一致しない場合があります。

(3) 表記

- ◆ 単一回答 (Single Answer) は「SA」、有効回答数 (number) は「n」と表記します。ただし、※本調査の設問は単一回答で、有効回答総数は888であるため、設問ごとのこれらの表記は、省略している場合があります。

※35 ページ「第3章公共交通に関する調査」の(8)のみ複数回答

- ◆ 無回答者を含めない回答比率 (%) を算出した場合や、クロス集計を行った場合は、その集計の有効回答数 (number of case) を「n」で示しています。
- ◆ これまでの調査結果の推移を示す図表では、調査年度ごとの有効回答数は省略しています。
- ◆ 無回答は、「記入無」と表記しています。
- ◆ 図表や本文中の設問・選択肢の表記は、簡略化している場合があります。
- ◆ 元号は、平成をH、令和をRと表記する場合があります。

第2章 「市民アンケート調査」結果

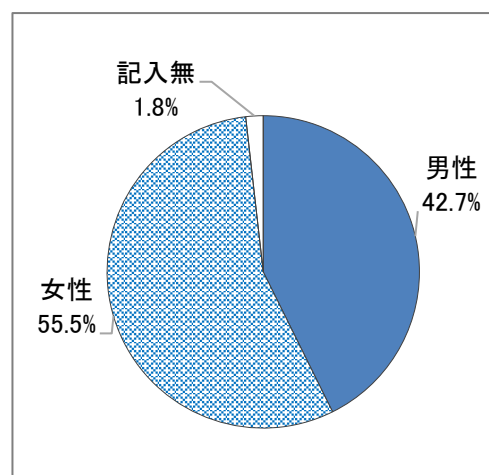
1 基本属性

F 1 性別

(S A、n=888)

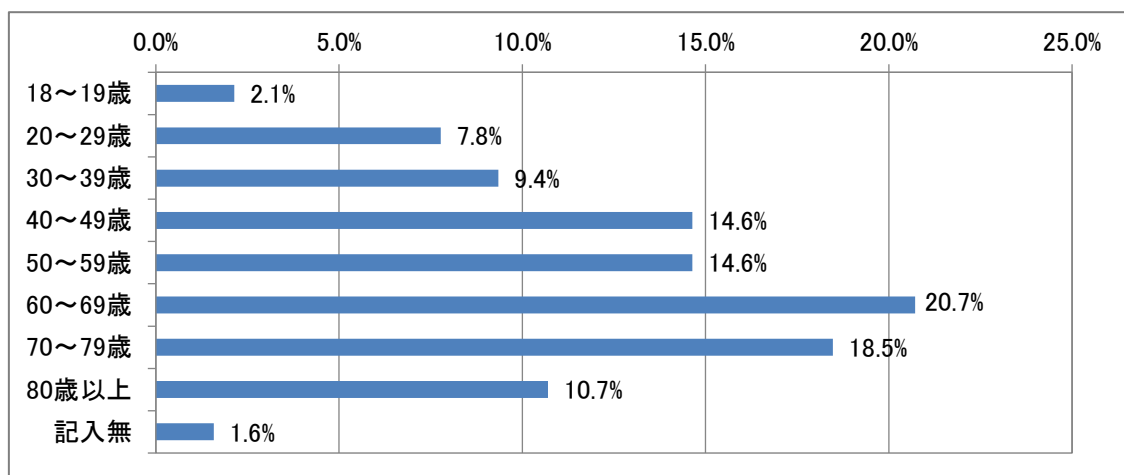
回答者の性別は、「男性」が42.7%、「女性」が55.5%でした。なお、「記入無」が1.8%でした。

基準日の人口における男女比率は、男性49.4%、女性50.6%とほぼ5割ずつですが、回答者の男女比率は、第1回から一貫して女性の割合が高く、今回も女性の回答者が男性の回答者を12.8ポイント上回っています。



F 2 年齢

(S A、n=888)



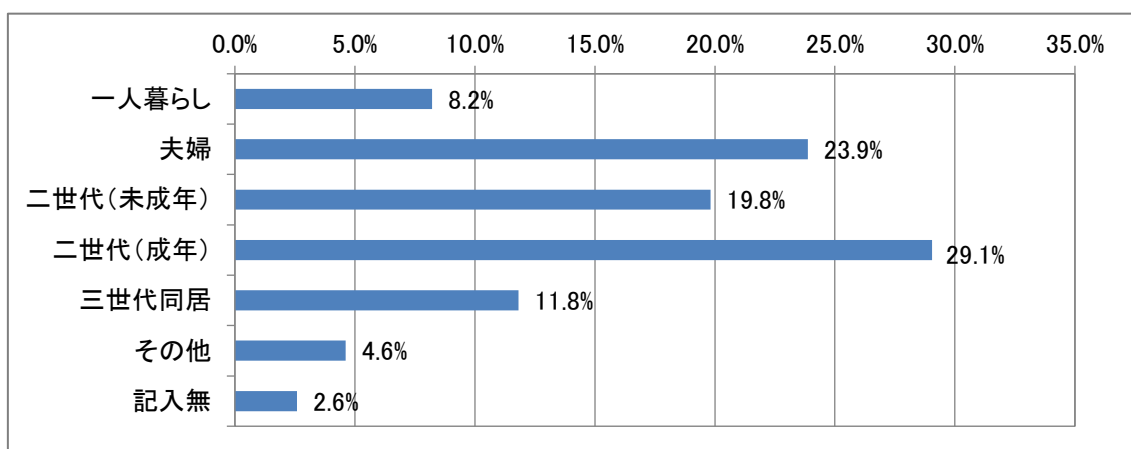
回答者の年齢層の構成は、「60～69歳」が最も多く20.7%、次いで「70～79歳」(18.5%)、続いて「40～49歳」と「50～59歳」がそれぞれ14.6%でした。

第1回から第4回の調査では50歳代が最も多く、第5回は30歳代が最多でしたが、平成23年度の第6回調査以降は、60歳代の割合が最も多く、20%前後で推移しています。

また、平成29年度の調査以降、60歳以上の回答者が全体の半数近くを占めています。

F 3 家族構成

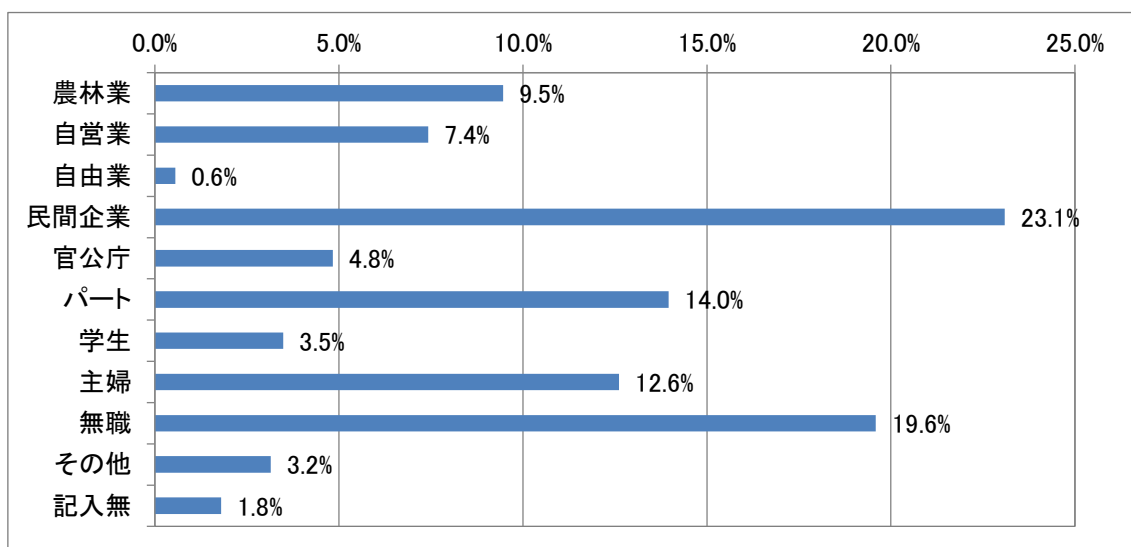
(S A、n=888)



回答者の家族構成は、「成年の子との二世世代同居」が29.1%と最も多く、次いで「夫婦」(23.9%)、続いて「未成年の子との二世世代同居」(19.8%)となり、この3つの家族構成で7割以上を占めました。例年、比率は異なるものの、この3つの家族構成が上位を占めています。

F 4 職業

(S A、n=888)



回答者の職業は、「民間企業」が最も多く23.1%、続いて「無職」(19.6%)、「パート」(14.0%)、「主婦」(12.6%)の順でした。この4項目で全体の約7割を占めています。

前回、前々回は「無職」が最も多く2割を超えましたが、今回は3年ぶりに「民間企業」が最も多い結果でした。

「無職」は平成15年度が14.9%、平成17年度が16.6%で、平成24年度の第7回調査以降は18%を超えています。なお、「無職」と答えた方の年齢は、60歳以上が9割を占めています。

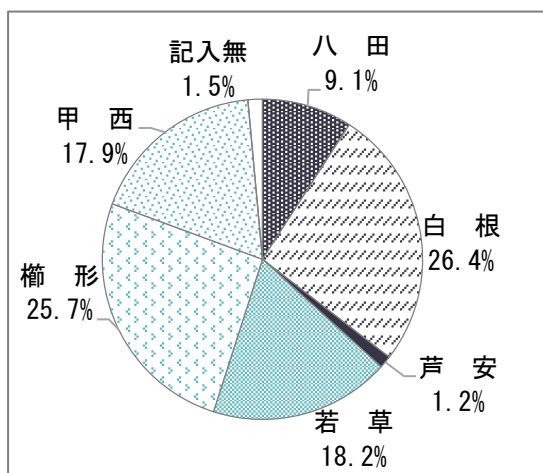
また、「主婦（主夫）」と回答した方の97.3%、「パート」と答えた方の73.4%が女性の回答者でした。一方、「民間企業」と答えた方の66.3%が男性の回答者でした。「農林業」と答えた方の8割は60歳以上の方でした。

◆職業分類の詳細

職業分類	詳細
農林業	農業・林業
自営業	自営の商・工・サービス業（建設業、家族従業員を含む。）
自由業	開業医・弁護士・税理士・僧侶などの自由業
民間	民間企業・事務所の会社員、従業員
官公庁	官公庁・学校・公社公団・農協など公共的機関の職員
パート	パート・アルバイト・内職
学生	高校生・大学(院)生・専門学校生など
主婦	主婦・主夫

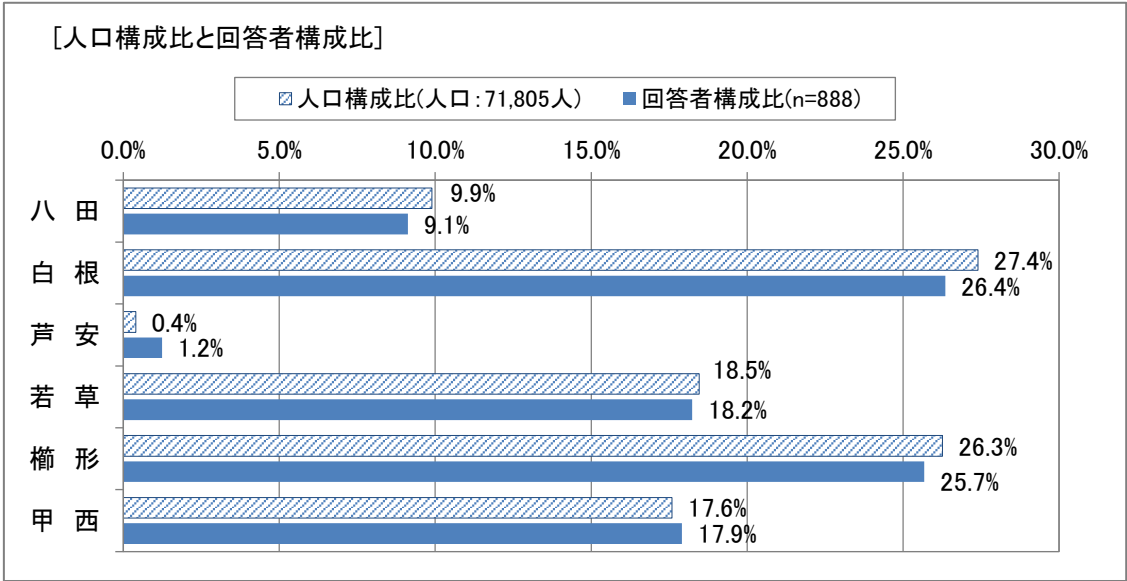
F 5 居住地区

(SA、n=888)



回答者の居住地区は「白根地区」(26.4%)が最も多く、次が「榊形地区」(25.7%)で、この2地区を合わせると全体の約半数を占めています。

続いて「若草地区」(18.2%)、「甲西地区」(17.9%)の2地区がそれぞれ約2割、「八田地区」が9.1%、過疎地域に指定されている「芦安地区」が1.2%でした。

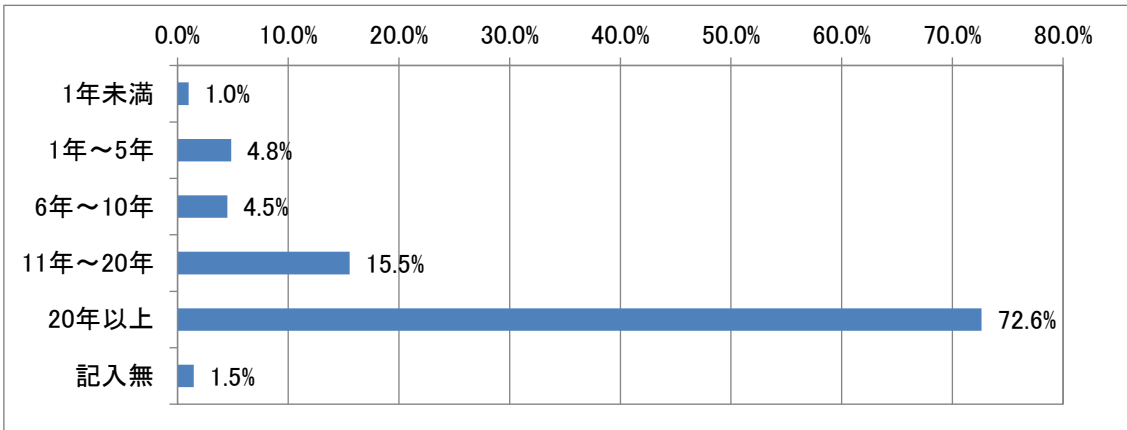


居住地区別に、基準日における人口の構成比と回答者の構成比を比較すると、白根地区の1ポイント差が最大で、どの地区も大きな差はありませんでした。

本調査は地区別（旧町村単位）の人口に応じて標本数を配分する仕様となっているため、居住地区別での人口構成比と回答者構成比は、例年、近似した結果となっています。

F 6 居住年数

(S A、n=888)



回答者の居住年数は、「20年以上」が圧倒的に多く72.6%、次いで「11年～20年」の15.5%、続いて「1年～5年」(4.8%)「6年～10年」(4.5%)「1年未満」(1.0%)の順でした。

例年と同様に、11年以上居住している回答者が8割を超えており、特に今回と前回は約9割となっています。

2 市民アンケート質問項目5年間の推移

◇市民アンケート調査の結果は、行政評価において、前年度の取組の実績値とします。

◇今回は質問内容の見直しを行ったため、昨年までと内容が変わったものなどは「※」で補足説明をしています。

◇H27～H30が「－」となっているものは、今回新規で追加した質問です。

【選択肢】 ・肯定的回答を実績値とします。

区分	肯定的		中立	否定的	
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
No.1～54 5択	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
No.55～61 3択	知っている	－	聞いたことがある	－	知らない
No.62～68 2択	はい	－	－	－	いいえ
No.69 2択	本庁 / 支所 (両方の結果を掲載)				

【結果】

n=888 (No.65 を除く)

No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
1	平成31年4月1日で南アルプス市誕生(合併)から16年となります。市内の一体感が図られたと感じますか。 ※H30までは合併から何年か記載なし	14.8%	14.8%	17.5%	19.3%	32.7%
2	自治会(地域コミュニティ)の活動やイベントなどに満足していますか。	33.9%	35.4%	37.5%	39.0%	34.8%
3	あなた自身またはご家族のどなたかが、自治会などの地域活動に参加していますか。 ※前回まで「地域(コミュニティ)活動」	56.8%	54.3%	51.2%	52.5%	66.4%
4	自治会などの地域活動により、地域が活性化していると感じますか	－	－	－	－	32.7%
5	「広報南アルプス」の内容はわかりやすいですか。 ※H30まで「満足していますか」	54.6%	56.0%	59.2%	59.6%	62.7%
6	市のホームページの内容はわかりやすいですか。 ※H30まで「満足していますか」	28.5%	30.1%	32.6%	34.6%	37.6%
7	CATVの行政番組の内容に満足していますか。	30.5%	31.1%	32.3%	33.2%	32.0%
8	まちづくりに関心がありますか	－	－	－	－	56.6%

No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
9	街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回などの防犯対策に満足していますか。	42.7%	42.8%	45.5%	44.7%	44.0%
10	住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか。	59.4%	55.1%	53.5%	55.8%	50.9%
11	地震や水害等の災害に備えて備蓄や避難所の確認などを行なっていますか。 ※H30まで「地震等の災害」	59.9%	49.6%	53.0%	52.2%	59.5%
12	省エネに取り組んでいますか	-	-	-	-	66.2%
13	南アルプスの自然は守られていると思いますか。 ※H30まで「山林や緑地、河川など市内の自然環境は良好に保たれていると感じますか。」	49.8%	54.3%	54.5%	55.3%	53.4%
14	家庭内で男女差別を感じていますか。 ・割合が低下したほうが成果向上	19.9%	20.0%	17.8%	18.9%	20.6%
15	職場や地域で男女差別を感じていますか。 ・割合が低下したほうが成果向上	25.8%	27.5%	23.5%	25.1%	26.5%
16	男女共同参画の推進は重要だと思いますか。 ※H30まで満足度・重要度調査の中の設問	30.5%	32.5%	35.1%	33.4%	62.7%
17	仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。	44.0%	39.6%	38.5%	42.0%	39.5%
18	自己的人権が守られていると思いますか。	-	-	-	-	56.2%
19	地域の福祉サービスが安心して受けられると思いますか。	29.6%	31.6%	35.1%	36.5%	40.5%
20	地域で見守り、声かけなどの助け合いが行われていると感じますか	-	-	-	-	36.9%
21	南アルプス市は、子育てしやすいまちだ(安心して子育てができる環境が整っている)と思いますか。 ※今回から「子育てしやすいまち」を追加	41.9%	46.7%	52.9%	53.2%	43.2%
22	南アルプス市は、老後も安心して暮らせると思いますか。	36.8%	41.2%	42.3%	42.0%	35.3%
23	障がいのあるかたへの声かけ、または見守りなどを行なっていますか	-	-	-	-	26.5%

No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
24	各種健康診断など、健康づくり対策に満足していますか。	52.8%	57.5%	58.9%	59.8%	54.3%
25	日常的に健康づくりをしていますか。	-	-	-	-	53.3%
26	医療機関の救急医療体制に満足していますか。	37.6%	41.1%	40.8%	41.5%	36.7%
27	安心して医療が受けられると感じていますか。	-	-	-	-	48.8%
28	普段の買い物で積極的に地元農産物を購入(地産地消)していますか。	53.0%	54.1%	55.6%	57.5%	48.7%
29	南アルプス市は買い物に便利な地域だと思いますか。	53.6%	54.0%	50.1%	54.2%	52.6%
30	市内の道路の整備状況に満足していますか。	37.8%	39.0%	40.0%	39.2%	46.1%
31	市内の道路は安全に利用できると感じますか。	-	-	-	-	44.6%
32	道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか。	58.3%	56.4%	52.0%	52.7%	53.2%
33	路線バスなど公共交通機関の運行状況に満足していますか。	11.4%	20.3%	24.3%	22.8%	14.0%
34	公共交通で生活に必要な移動ができると思いますか	-	-	-	-	12.5%
35	市内の街並みや景観は、美しいと感じますか。	50.8%	55.7%	55.6%	57.3%	45.2%
36	市内の景観を守り、育てるための活動に関心がありますか。 ※H30まで「参加したいと思いますか」	40.1%	38.2%	35.1%	36.9%	49.6%
37	公園など子どもの遊び場の整備状況に満足していますか。	32.1%	33.3%	32.5%	35.1%	30.3%
38	南アルプス市は、住みやすい地域だと感じますか。	65.7%	65.4%	70.2%	70.6%	62.5%

No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
39	南アルプス市に住み続けたいと思いますか	-	-	-	-	67.0%
40	水道の「水」は、おいしいと感じますか。	66.2%	63.9%	61.0%	66.0%	68.1%
41	水道の利用に不便を感じますか。	-	-	-	-	16.4%
42	趣味や娯楽なども含め、生涯学習活動を行なっていますか。	33.1%	29.0%	31.2%	29.4%	29.8%
43	習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行なっていますか。	37.4%	34.3%	33.0%	34.1%	28.5%
44	過去1年間に図書館や美術館などの文化施設を利用した方にお聞きします。市の文化施設は、利用しやすいと感じましたか。	38.6%	34.9%	40.3%	40.5%	35.5%
45	過去1年間に体育館などのスポーツ施設を利用した方にお聞きします。市のスポーツ施設は、利用しやすいと感じましたか。	26.8%	25.0%	25.3%	26.1%	19.6%
46	市内には守り伝えるべき豊かな歴史があると感じますか	-	-	-	-	52.8%
47	市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。	83.9%	79.2%	79.5%	81.6%	78.4%
48	文化財や伝統芸能の保護や継承活動に満足していますか。	35.9%	33.2%	38.8%	35.7%	34.5%
49	小学校・中学校の教育の内容に満足していますか。	34.1%	32.2%	32.8%	34.9%	27.4%
50	地域の子どもたちに、あいさつや声かけなどを行なっていますか。	67.1%	65.4%	61.8%	66.8%	61.4%
51	家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行なわれていると感じますか。	23.7%	24.3%	22.8%	30.4%	28.8%
52	市役所が行っている各種サービスに満足していますか。	40.6%	44.1%	47.6%	47.3%	36.5%
53	市役所の業務は効率的に行われていると思いますか	-	-	-	-	32.1%

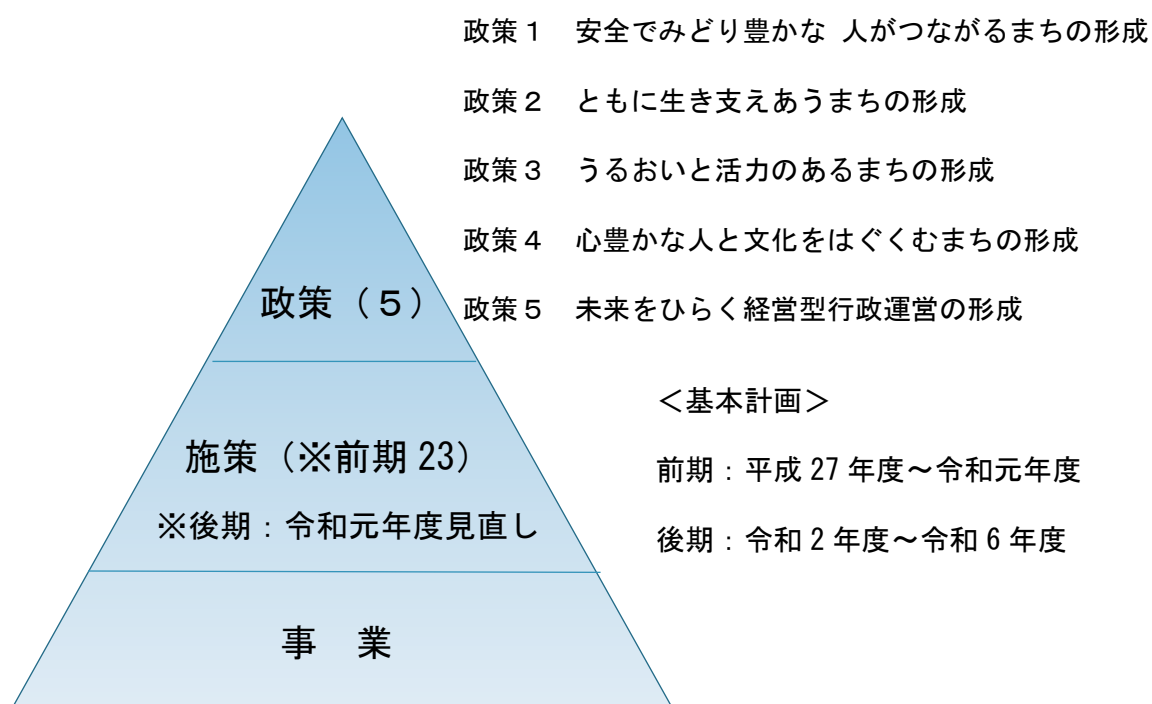
No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
54	市役所の職員は、信頼できますか。	42.9%	44.1%	45.0%	46.4%	45.8%
55	「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか。	23.5%	21.3%	18.6%	21.6%	12.5%
56	ハザードマップなどで、お住まいの地域で考えられる災害時の危険性を認識していますか。	37.1%	35.8%	38.2%	34.6%	32.3%
57	平成26年6月に「南アルプス」がユネスコエコパークに登録されました。あなたは、ユネスコエコパークについてご存知ですか。	39.4%	38.3%	32.3%	33.2%	31.9%
58	「多文化共生社会」とはどのような社会かご存知ですか	-	-	-	-	12.8%
59	生活に困った時、市役所に相談窓口があることを知っていますか	-	-	-	-	40.4%
60	「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の意味をご存知ですか。	61.1%	57.0%	50.4%	57.0%	50.6%
61	「幸せ実感！南アルプス健康リーグ」をご存知ですか	-	-	-	-	8.8%
62	住宅用火災警報器を設置していますか。	71.7%	74.4%	76.2%	73.9%	79.6%
63	南アルプス（広河原）を訪れたことがありますか	-	-	-	-	49.7%
64	楡形山（伊奈ヶ湖周辺）を訪れたことがありますか	-	-	-	-	83.9%
65	子育て中の方にお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか。 ◆回答者(234件＝子育て中の方)のうちの割合	-	-	-	-	64.1%
66	過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがありますか。 ※H30までは「史跡探索や伝統芸能の体験活動をしましたか」(5択)	14.2%	10.6%	9.5%	8.6%	27.8%
67	市役所の窓口は利用しやすいと思いますか。	65.7%	67.5%	75.2%	71.4%	72.5%
68	市役所の窓口対応や電話対応に満足していますか。	70.4%	68.4%	72.6%	71.4%	74.2%

No.	質問内容	H27 (H26 実績)	H28 (H27 実績)	H29 (H28 実績)	H30 (H29 実績)	今回 (H30 実績)
69	市役所に用事があるとき、本庁と支所どちらを利用したいですか(選択肢 本庁/支所) ★「本庁」と回答した割合	-	-	-	-	39.5%
69	市役所に用事があるとき、本庁と支所どちらを利用したいですか(選択肢 本庁/支所) ★「支所」と回答した割合	-	-	-	-	58.0%

3 分野別でみる調査結果

◇第2次総合計画の政策体系

“第2次総合計画”の基本計画は、5つの政策（まちづくりの基本方針）と、それを実現するための「施策」、具体的な「事業」の3階層から組み立てられています。次のページから、政策体系に基づき、分野別に調査結果を掲載します。なお、後期基本計画策定にあたっては、「施策」の見直しを行います。



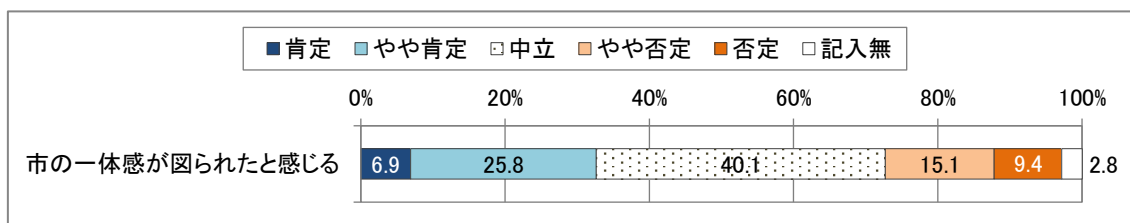
◇グラフの表示

調査結果を示す横棒グラフの区分と色は、次のとおりです。

(S A、有効回答者数の表記がない場合は、n=888)

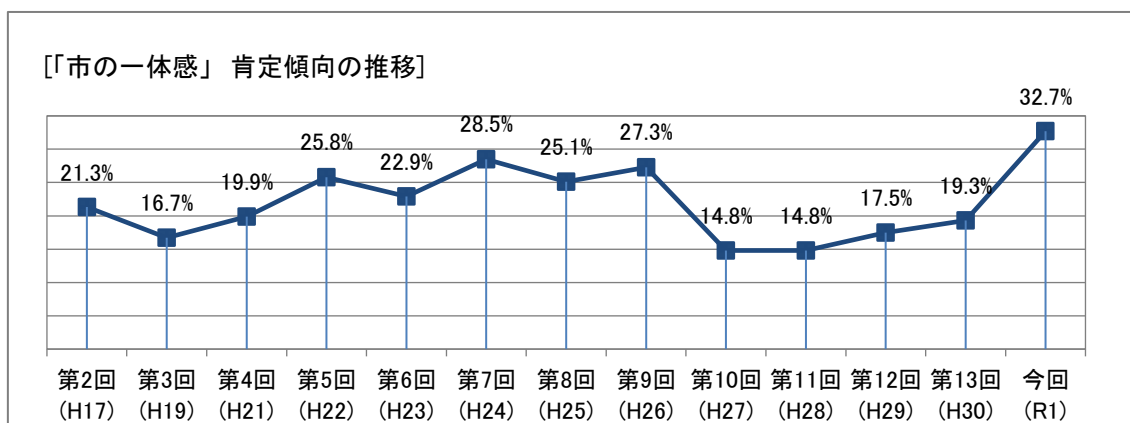
グラフ区分 選択肢数 色	肯定	やや肯定	中立	やや否定	否定	記入無 (白)
5択	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	
3択	知っている	—	聞いたことがある	—	知らない	
2択	はい	—	—	—	いいえ	

はじめに ～市の一体感



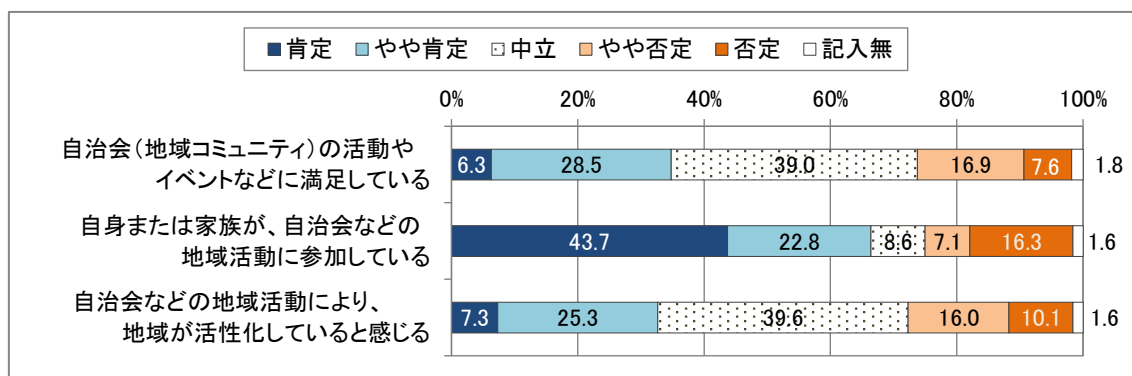
「市内の一体感が図られたと感じますか」は、平成17年度から継続している質問です。本調査の対象は18歳以上の市民ですが、いつ合併したか知らない方も増えていることを想定し、今回の調査では「平成31年4月1日で南アルプス市誕生（合併）から16年となります」という説明を加えて質問したところ、過去最高となる32.7%の方が「(やや)あてはまる」と回答しました。

昨年度は、「市のシンボル」として、市の木（モモ）・花（アヤメ）・鳥（ライチョウ）・山（北岳）が決定し、市役所本庁の増改築が完成するなど、平成15年の合併当初と比較すると「一体感が図られた」と感じる方が増えたと考えられます。



政策 1 安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成

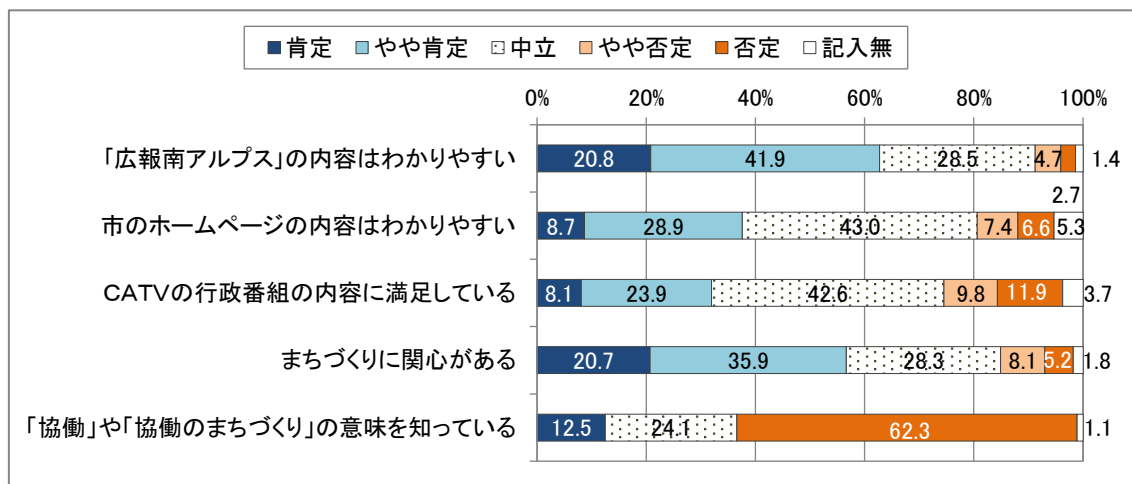
(1) 地域活動



「自治会などの地域活動」については、「(やや)満足している」と回答した方が34.8%、「本人または家族の誰かが自治会などの地域活動に(どちらかという)と参加している」と回答した方が66.4%でした。「自治会などの地域活動により、地域が活性化している」と回答した方は32.6%で、「自治会の活動に満足」とともに「どちらともいえない」が4割を占めました。

なお、「本人または家族の誰かが自治会などの地域活動に参加している」の居住地区別の肯定的回答割合は、「白根地区」と「甲西地区」で約7割、「八田地区」「楡形地区」「若草地区」で約6割、標本数が少ないものの、「芦安地区」で約4割でした。

(2) 市民参加

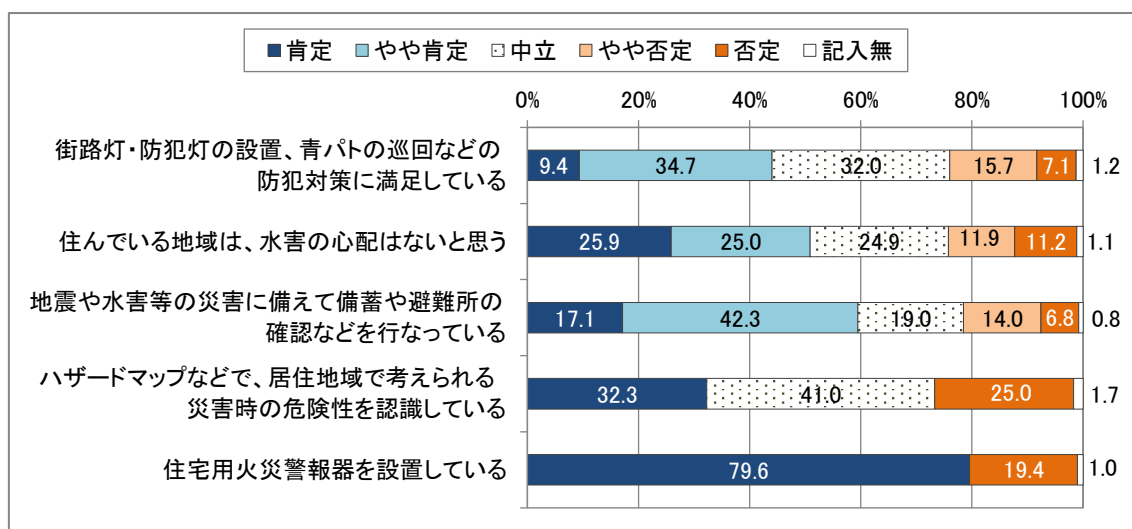


市民の市政への参加に欠かせない「広聴・広報」については、「広報南アルプスの内容はわかりやすい」の肯定的回答が62.7%で、否定的回答も1割に満たないことから、多くの回答者が「わかりやすい」と評価しています。「市のホームページはわかりやすい」「CATVの行政番組に満足」は、「どちらともいえない」が4割を占めています。

「まちづくりに関心が(やや)ある」と回答した方は56.6%で「(あまり)ない」の13.3%を大幅に上回りました。一方、「※協働のまちづくりについて知っている」では、62.3%の方が「知らない」と回答しました。

※協働のまちづくり・・・市民と行政がともにかかわりあいながら、「行政だけ」「市民だけ」ではなく、相互に連携し力をあわせてまちづくりを行うこと。また、市民が市政に積極的に参画していこうという意味も含まれる。

(3) 防災・防犯



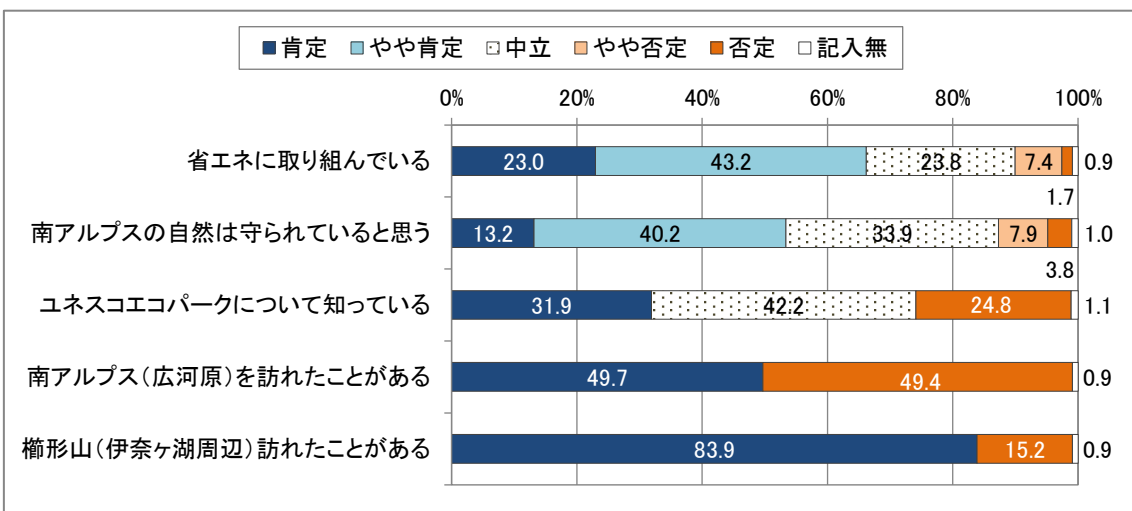
市の防犯対策である「防犯灯の設置」「青色パトロールカーの巡回」などに「(やや)満足している」回答者は約4割でした。

防災に関しては、「住んでいる地域は水害の心配はない」では「(やや)あてはまる」が約半数でしたが、「※ハザードマップなどで居住地域の災害の危険性を認識している」回答者は25.0%にとどまりました。「地震や水害等の災害に備えて備蓄や避難所の確認などを(やや)行っている」回答者は約6割でした。

火災に備え設置が義務付けられている「住宅用火災警報器」については、「設置している」と答えた方が79.6%でした。

※ハザードマップ・・・災害時の危険な地域や避難所などの情報を掲載した地図。南アルプス市では、「洪水」「土砂災害」「地震」のハザードマップがある。

(4) 自然・環境



〔ユネスコエコパークについて知っている割合 推移〕

調査区分	知っている
第9回(H26)	26.5%
第10回(H27)	39.4%
第11回(H28)	38.3%
第12回(H29)	32.3%
第13回(H30)	33.2%
今回(R1)	31.9%

「ユネスコエコパークについて知っている」と回答した割合は、平成26年6月に南アルプス地域が登録された約1年後の調査である平成27年度をピークに下降し、今回も31.9%と伸び悩んでいます。「南アルプスの自然は守られていると思う」では、肯定的回答が53.4%にとどまりました。「南アルプスを訪れたことがある」方は約半数で、「櫛形山を訪れたことがある」方は83.9%に上りました。

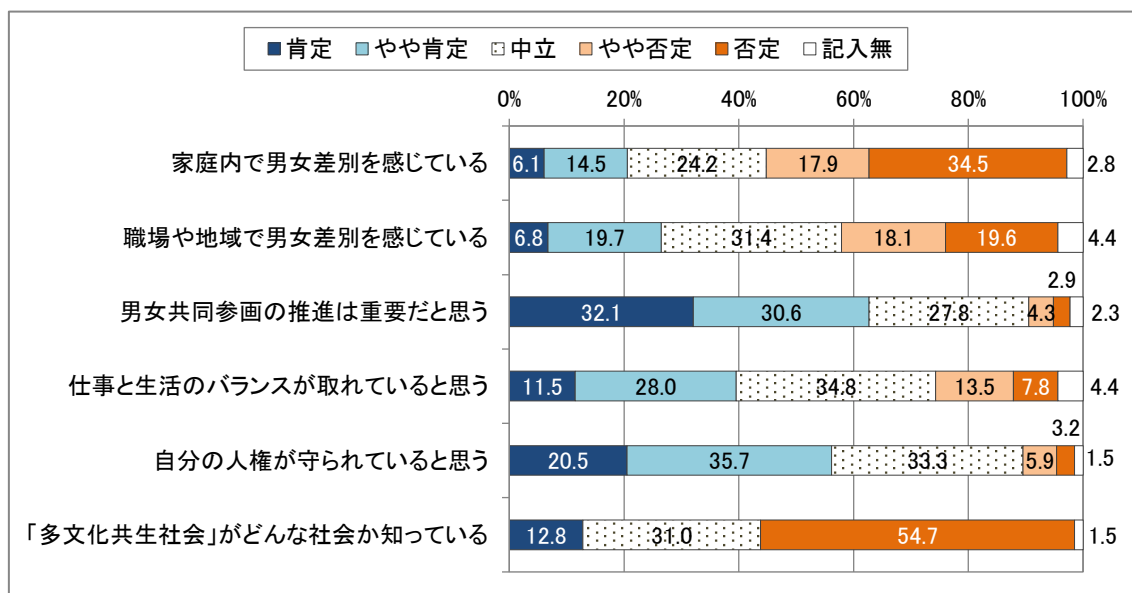
「省エネに(やや)取り組んでいる」と回答した方は、66.2%でした。

※ユネスコエコパーク・・・ユネスコが登録する生物圏保存地域。豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取組。



政策2 とともに生き支えあうまちの形成

(1) 多様性の尊重



「男女差別を(やや)感じている」と回答した方は、「家庭」が20.6%、「職場や地域」では26.5%でした。男女別で見ると、男性の回答者は「家庭」で13.5%、「職場や地域」で20.3%、女性の回答者は「家庭」で26.8%、「職場や地域」で31.6%と、女性の回答者のほうが男性の回答者より「男女差別を感じている」割合が高い結果でした。

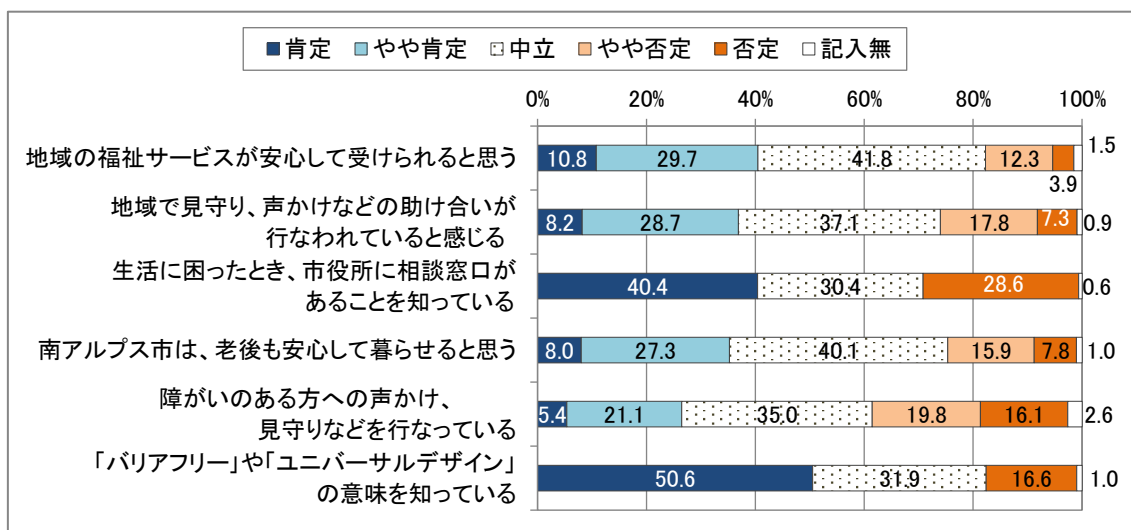
「男女共同参画の推進は重要だと思う」では62.7%が肯定的回答をしました。男女共同参画の推進のためには、「仕事と生活のバランスが取れている」ことが求められますが、「(やや)取れていると思う」との回答は約4割にとどまりました。

「自己的人権が守られていると思う」では肯定的回答が56.2%、否定的回答は1割に満たず、「守られていない」と感じている回答者は少ない結果でした。

「※多文化共生社会がどんな社会か知っている」と回答した方は12.8%で、「知らない」が半数を超えました。

※多文化共生社会・・・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていく社会。

(2) 社会福祉



「地域の福祉サービスが安心して受けられる」では、「(やや)思う」と「どちらともいえない」が約4割ずつでした。「地域で見守り、声かけなどの助け合いが行われていると感じる」では、肯定的回答が36.9%にとどまり、否定的回答が25.1%を占めました。また、「障がいのある方への声かけ、見守り」についても「(あまり)行っていない」が35.9%と多くを占め、「(やや)行っている」の26.5%を上回りました。

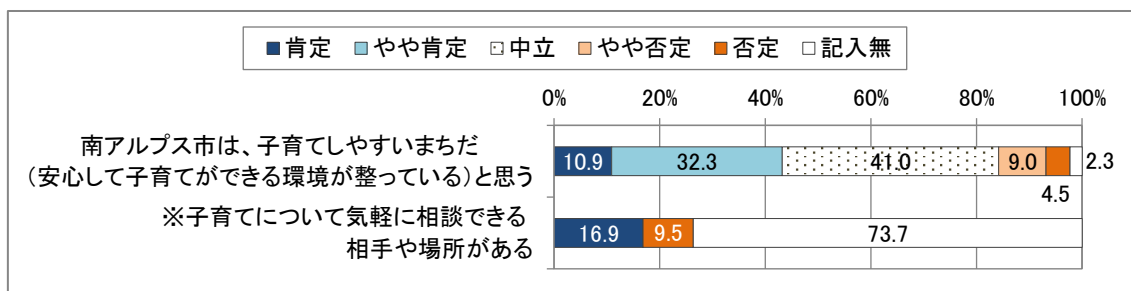
「老後も安心して暮らせる」では「どちらともいえない」が4割で、「(やや)思う」(35.3%)を上回りました。「(あまり)思わない」は23.7%でした。

「※バリアフリーやユニバーサルデザインの意味を知っている」では、約半数が「知っている」と回答したものの、16.6%の方は「知らない」と回答しました。

※バリアフリー・・・日常生活や社会生活における物理的、心理的な障害や、情報に関わる障壁を取り除いていくこと。

※ユニバーサルデザイン・・・障がいの有無、年齢、性別、国籍、人種等にかかわらずさまざまな人が気持ちよく使えるよう都市や生活環境を計画する考え方。

(3) 子育て支援

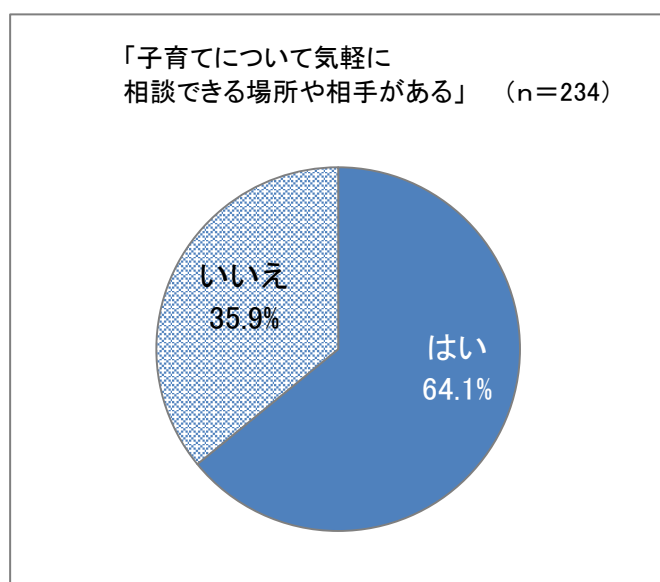


※は子育て中の方への質問

「南アルプス市は子育てしやすいまちだ（安心して子育てができる環境が整っている）と思う」では、「（やや）あてはまる」が43.2%でした。

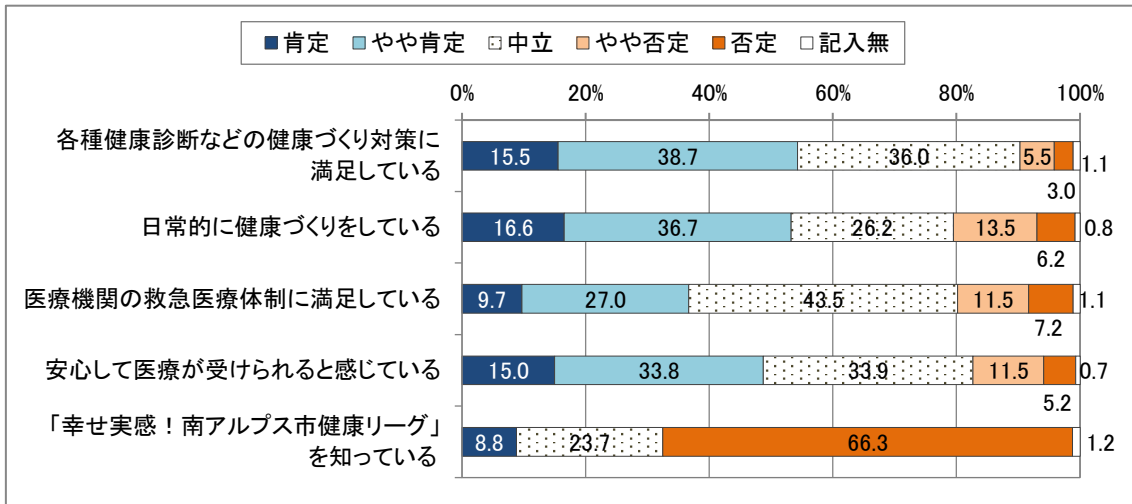
「子育て中の方にお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか」では、回答した方（=子育て中の方）が26.4%でした。本調査の回答者の家族構成は「未成年の子との二世帯同居」と「三世帯同居」を合わせて31.6%であることから、回答者のうち子育て中の方は約3割という結果でした。

※子育て中の方のうちの割合



「子育てについて気軽に相談できる相手や場所がある」に回答した方（=子育て中の方）に限定した内訳は、「はい」が64.1%で、子育てについて気軽に相談できる相手や場所がある方が6割以上を占めました。 「いいえ」も35.9%と少なくない状況です。

(4) 健康・医療



「各種健康診断などの健康づくり対策」には「(やや)満足している」が54.2%と半数以上を占めました。「日常的に健康づくりをしている」でも約半数の方が「(やや)あてはまる」と回答しましたが、「(あまり)あてはまらない」も2割ありました。平成29年にスタートした「※幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」については「知っている」が8.8%で、「知らない」が66.3%と大半を占めました。

「医療機関の救急医療体制」については、「(やや)満足している」が36.7%、「安心して医療が受けられると感じている」では「(やや)感じている」が約半数でしたが、それぞれ否定的回答も2割を占めました。

※幸せ実感！南アルプス市健康リーグ・・・

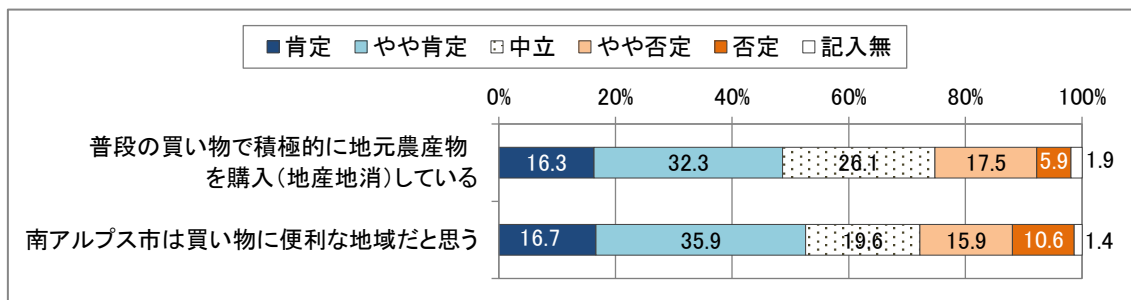
行政だけでなく、企業・団体・農協・商工会・地域などがひとつになって、市民の健康づくりに取り組み、健康からまちづくりを推進していこうとするつながり。

具体的には、市民の健康づくりに積極的に取り組む事業を提案し実践するグループ（企業・地域等）への支援や、市の健診（総合健診・人間ドック等）・健康リーグ協賛イベントでのポイント制の導入（南アルプス市商工会が発行する「アルピーカード」にポイントを付与できる「アルピーポイント引換券」を発券）などを行なっている。



政策3 うるおいと活力のある快適なまちの形成

(1) 農業・商業



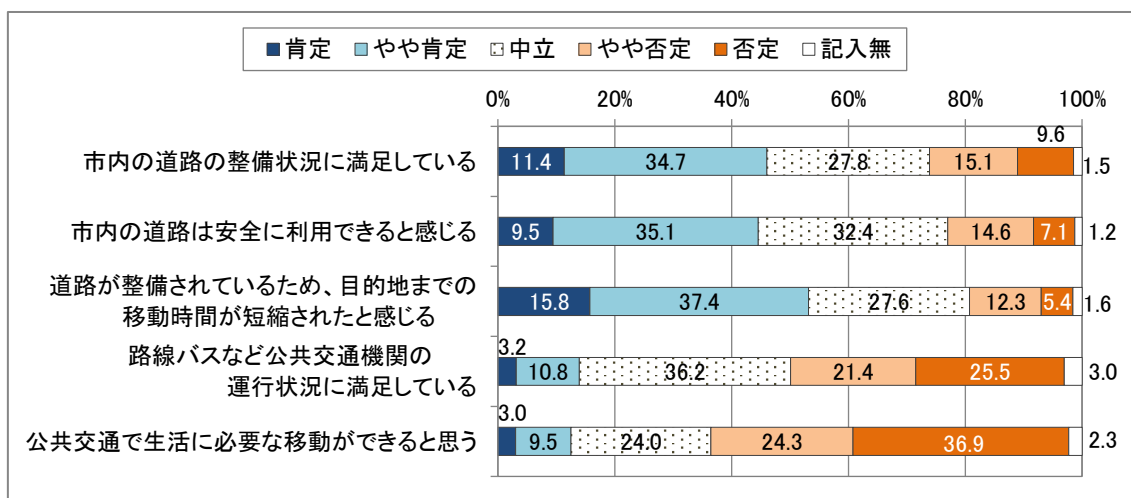
「普段の買い物で積極的に地元農産物を購入している」に「(やや)あてはまる」と回答した方は48.6%で約半数でした。第3回から継続して調査していますが、今回は6年ぶりに5割を下回りました。

「南アルプス市は買い物に便利な地域だと思う」では、52.6%が「(やや)思う」と回答しました。

[地元農産物の購入(地産地消) 推移]
(単位:%)

調査区分	肯定的	否定的
第3回(H19)	53.6	15.3
第4回(H21)	47.0	17.9
第5回(H22)	46.1	32.8
第6回(H23)	52.9	24.8
第7回(H24)	51.3	22.8
第8回(H25)	46.0	28.6
第9回(H26)	50.4	20.2
第10回(H27)	53.0	19.9
第11回(H28)	54.1	18.9
第12回(H29)	55.6	16.8
第13回(H30)	57.4	18.4
今回(R1)	48.6	23.4

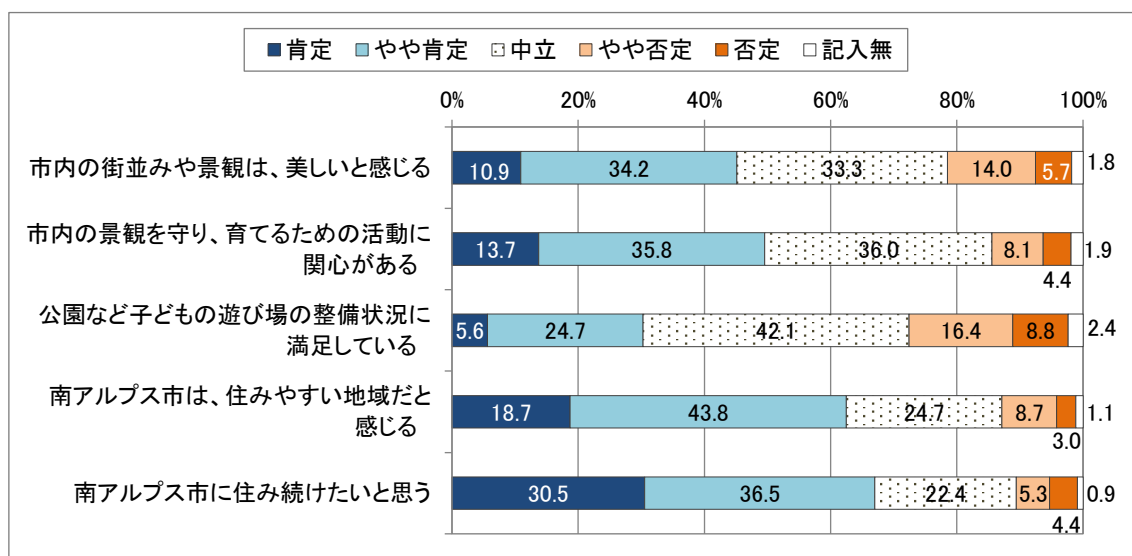
(2) 道路・交通



「市内の道路の整備状況に(やや)満足している」回答者は46.1%、「市内の道路は安全に利用できる(やや)感じる」回答者は44.6%でした。「道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じる」では、約半数の方が「(やや)感じる」と回答し、「(あまり)感じない」の17.7%を大きく上回りました。

公共交通については、「路線バスなどの公共交通機関の運行状況に(やや)満足している」と回答した方が14.0%で「(あまり)満足していない」が46.9%、「公共交通で生活に必要な移動ができますか」では「(やや)あてはまる」が12.5%、「(あまり)あてはまらない」が6割と、2問とも否定的回答が肯定的回答を大きく上回りました。特に、「公共交通で生活に必要な移動ができる」では約4割が「できない」と回答しています。

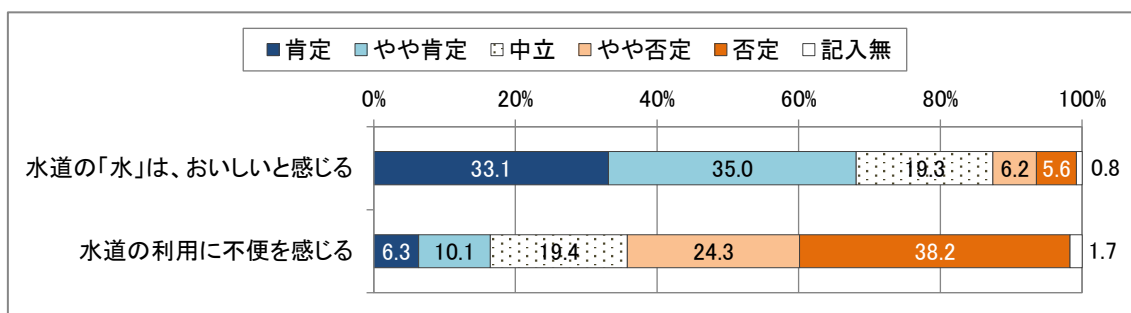
(3) 都市計画・住環境



「市内の街並みや景観は美しいと感じる」では、「(やや)感じる」が45.1%で、「どちらともいえない」が約3割でした。「景観を守り育てるための活動に(やや)関心がある」回答者は49.5%と約半数でした。「公園など子どもの遊び場の整備状況に満足している」では、「どちらともいえない」が最も多く42.1%、肯定的回答と否定的回答が約3割ずつでした。

住環境については、「南アルプス市は住みやすい地域だと感じる」で肯定的回答が約6割を占めました。「南アルプス市に住み続けたいと思う」では、約7割の回答者が「(やや)あてはまる」と回答しました。

(4) 水道

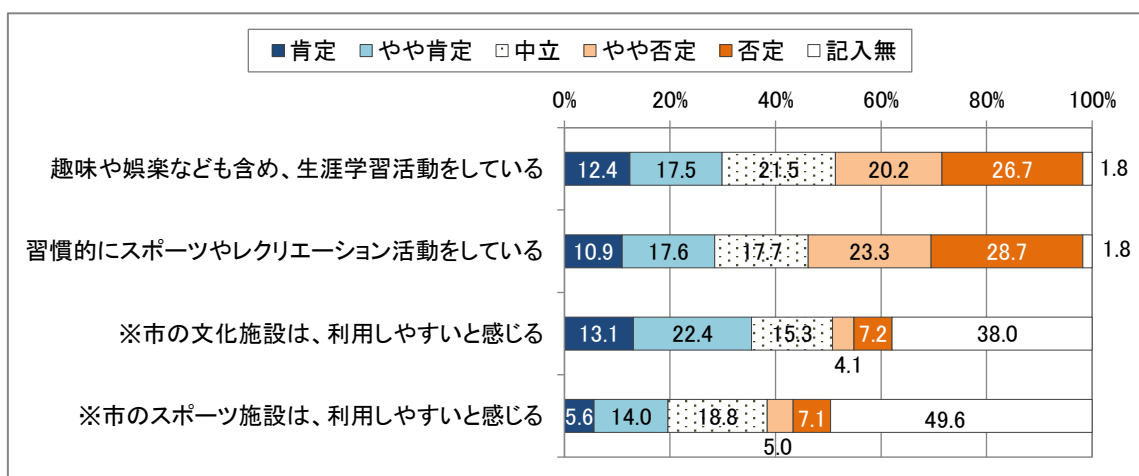


「水道の水」は「おいしい」が33.1%、「ややおいしい」を含めると約7割の方が肯定的な回答でした。「水道の利用に不便を感じますか」では「感じない」が約4割、「(あまり)感じない」を含めると62.5%と多くの回答者が特に不便は感じていないという結果でしたが、「(やや)不便を感じる」との回答も16.4%ありました。

なお、居住地区別に「水道の水はおいしい」の肯定的回答割合を比較すると、「白根地区」では約8割、「八田地区」「楡形地区」が約7割ですが、「甲西地区」「芦安地区」「若草地区」では約6割という結果でした。

政策4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

(1) 生涯学習

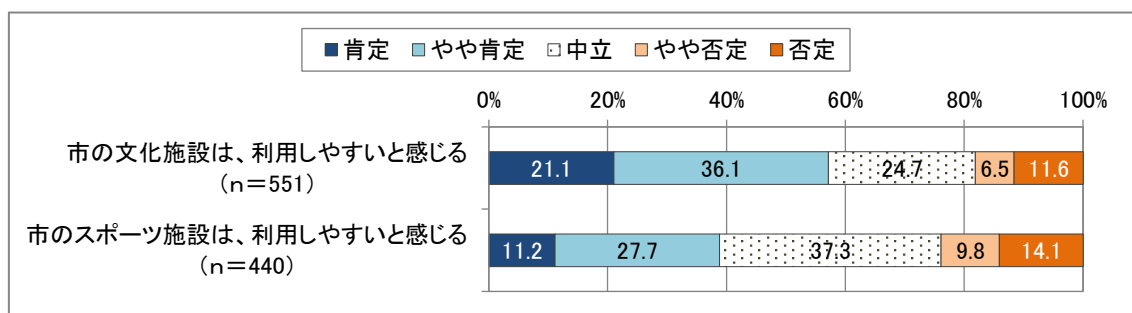


※は1年以内に利用した人への質問

「生涯学習活動」「スポーツ・レクリエーション活動」の実施については、いずれも「(やや)あてはまる」が約3割、「(あまり)あてはまらない」が約5割で、実施率は高くない状況です。

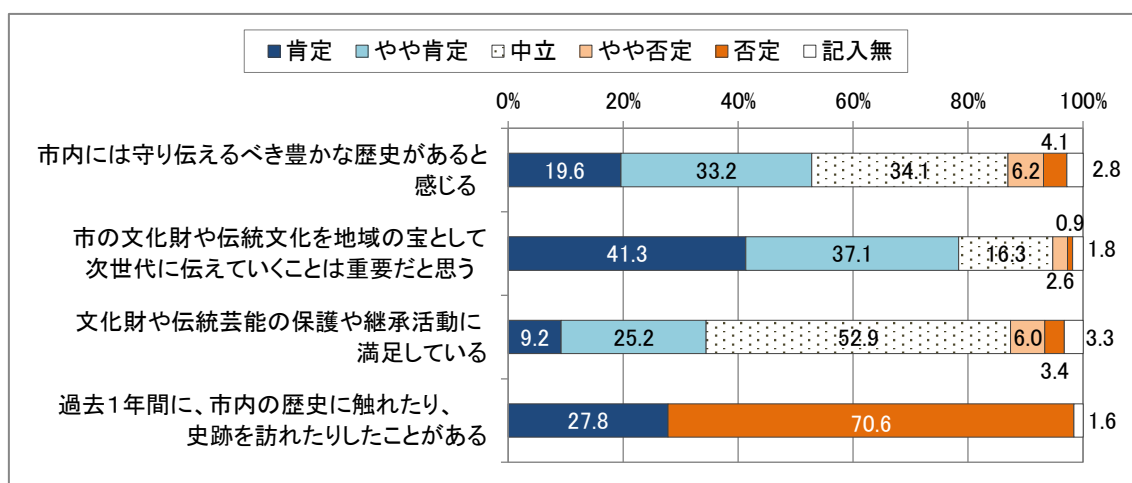
1年以内に施設を利用した人への質問である「文化施設」「スポーツ施設」の「利用しやすさ」については、回答した方(=1年以内に利用した回答者)が「文化施設」で約6割、「スポーツ施設」で約半数でした。

※1年以内に利用した人のうちの割合



「文化施設」「スポーツ施設」の「利用しやすさ」について回答した方(=1年以内に利用した方)の回答内訳は、「(やや)利用しやすい」が「文化施設」で57.2%、「スポーツ施設」では38.9%で、双方とも「(あまり)利用しやすくない」(「文化施設」18.1%、「スポーツ施設」23.9%)を上回りました。

(2) 歴史・伝統文化



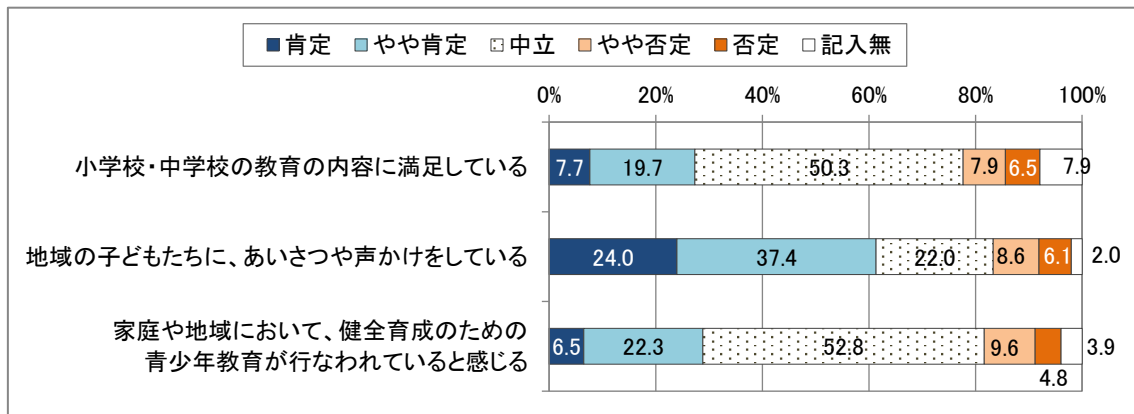


土偶キャラ「子宝の女神ラヴィ」

「市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要」に「あてはまる」と回答した方は41.3%で「(やや)あてはまる」を含めると約9割が肯定的回答をしました。一方、「市内には守り伝えるべき豊かな歴史がある」では約半数が肯定的回答をしたものの、「どちらともいえない」が34.1%を占めており、また、「文化財や伝統文化の保護や継承活動に満足」でも「どちらともいえない」が52.9%と約半数を占めました。

「過去1年間に市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがある」では、「はい」が27.8%で、「いいえ」が70.6%でした。

(3) 教育

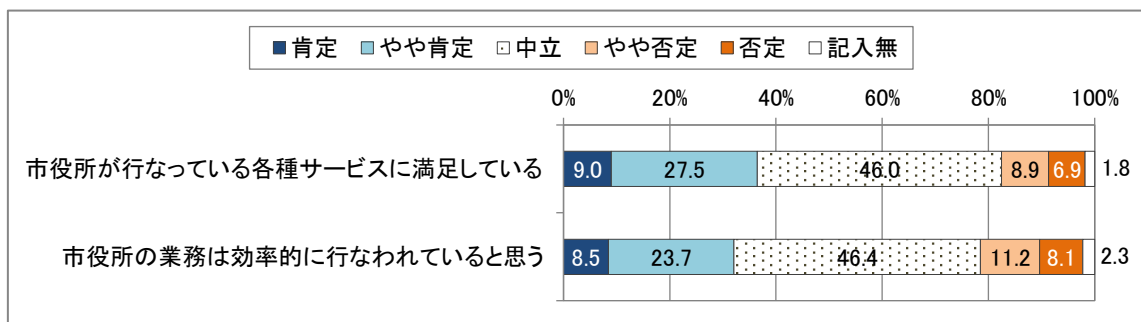


学校教育については、「小中学校の教育の内容に満足している」の肯定的回答が27.4%で、「どちらともいえない」が半数を占めましたが、家族構成が「未成年の子がいる二世帯同居」の回答者に限ると肯定的回答が40.9%で、否定的回答の22.2%を大きく上回りました。

青少年教育については、「地域の子どもたちに、あいさつや声かけ」を「(やや)行っている」回答者が約6割、「家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行われている」では「どちらともいえない」が約半数を占めました。

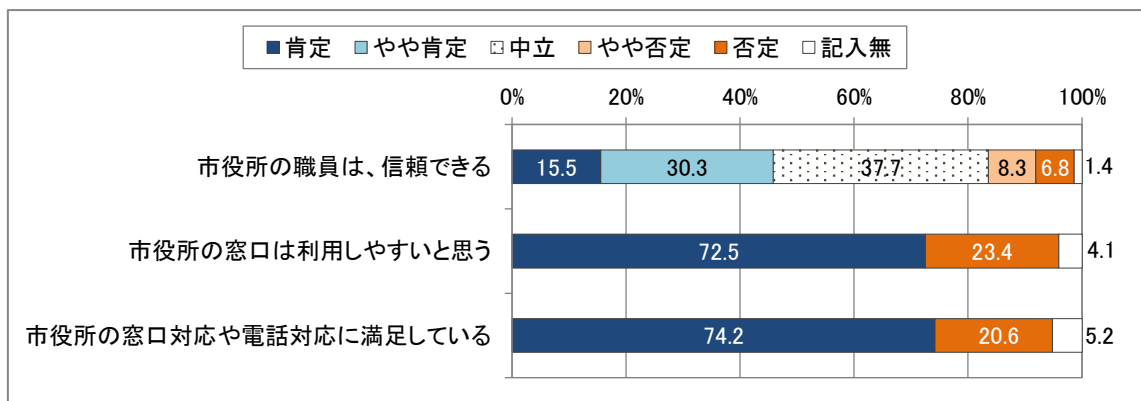
政策5 未来をひらく経営型行政運営の形成

(1) 行政サービス



「市役所が行っている各種サービスに満足している」では「どちらともいえない」が最も多く46.0%、肯定的回答は36.5%でした。「市役所の業務は効率的に行なわれていると思う」でも、「どちらともいえない」が46.4%、肯定的回答は32.2%で、市の業務に関する2つの質問は類似した結果でした。2問とも、否定的回答は約2割でした。

(2) 窓口・接遇



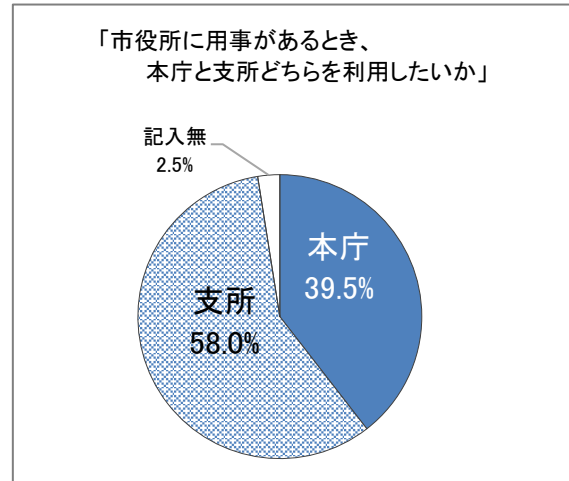
「市の職員は信頼できる」に「できる」と回答した方は15.5%で、「(やや)できる」を含めても45.8%と半数に届きませんでした。「市役所の窓口は利用しやすいと思う」「市役所の窓口対応や電話対応に満足している」では、2問とも「はい」が約7割、「いいえ」が約2割という結果でした。

[市の職員は信頼できる 推移] (単位:%)

調査区分	肯定的	否定的
第4回(H21)	37.8	26.3
第5回(H22)	42.4	21.4
第6回(H23)	43.8	17.6
第7回(H24)	42.2	16.3
第8回(H25)	41.1	18.4
第9回(H26)	49.3	15.6
第10回(H27)	42.9	24.5
第11回(H28)	44.1	26.3
第12回(H29)	45.0	18.1
第13回(H30)	46.4	19.6
今回(R1)	45.8	15.1

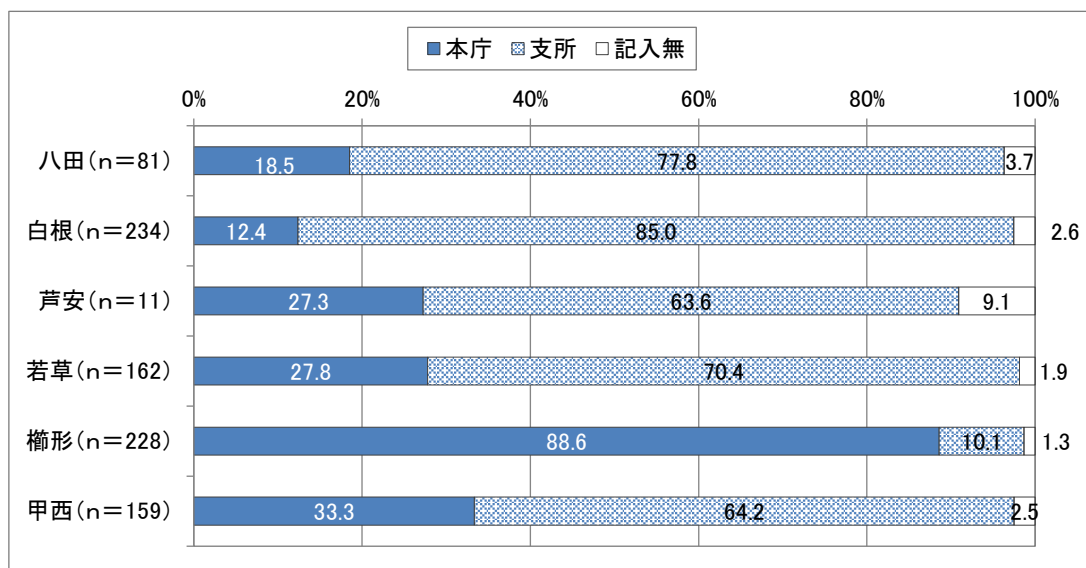
「市の職員は信頼できる」は、第4回から継続した質問ですが、おおむね4割前後で推移しています。今回は、肯定的回答割合が前回より若干低下しましたが、否定的回答も減っており、横ばいの状況です。

「市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか」では、「本庁」が39.5%、「支所」が58.0%で、「支所」と回答した方が多い結果でした。



ただし、回答者の居住地区別でみると、本庁のある「楡形地区」の回答者では「本庁」と答えた方が88.6%と9割近くを占めており、「楡形地区」以外の地域では「支所」と答えた方が「白根地区」で85.0%、「八田地区」で77.8%、「若草地区」で70.4%、「甲西地区」で64.2%、「芦安地区」で63.6%でした。

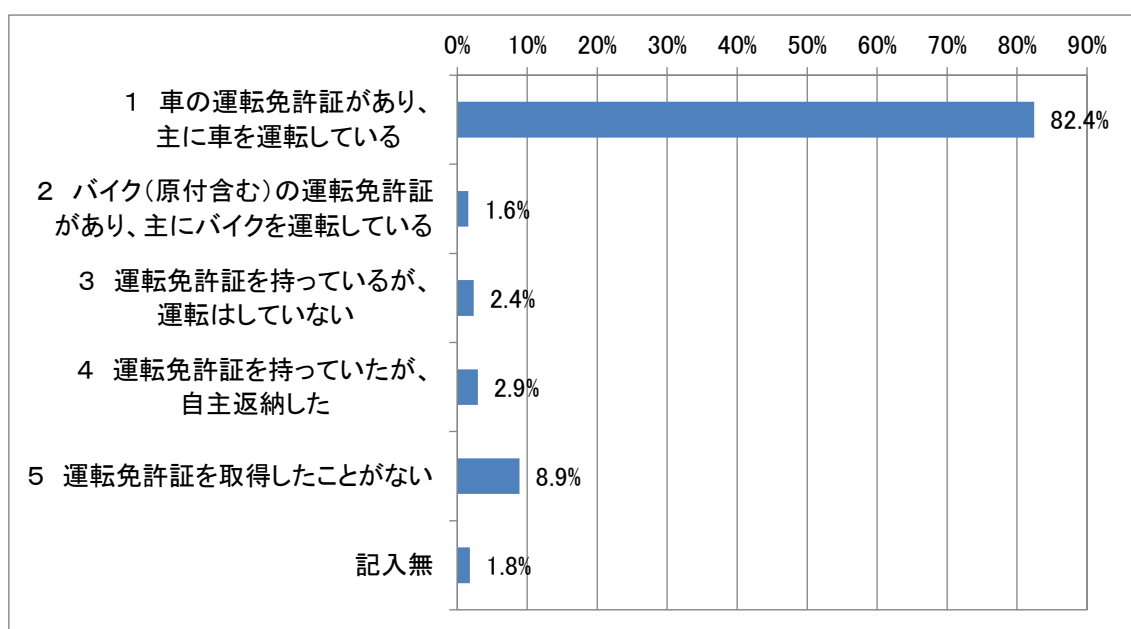
◇「本庁と支所どちらを利用したいか」地区別結果



第3章 「公共交通に関する調査」結果

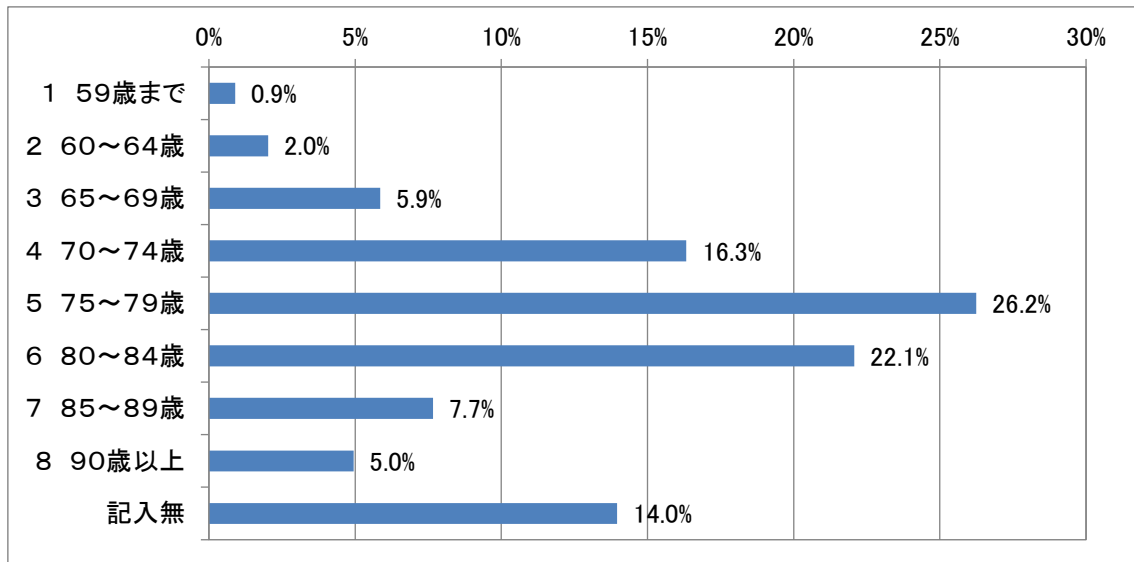
鉄道駅がなくマイカー利用者が多い本市においては、高齢化の進行により運転免許証の自主返納者など交通弱者の増加が見込まれます。今後の公共交通施策につなげるため、「後期基本計画策定のための市民アンケート調査」と併せて日頃の移動手段や公共交通についての調査を実施しました。

(1) 運転免許証はお持ちですか。



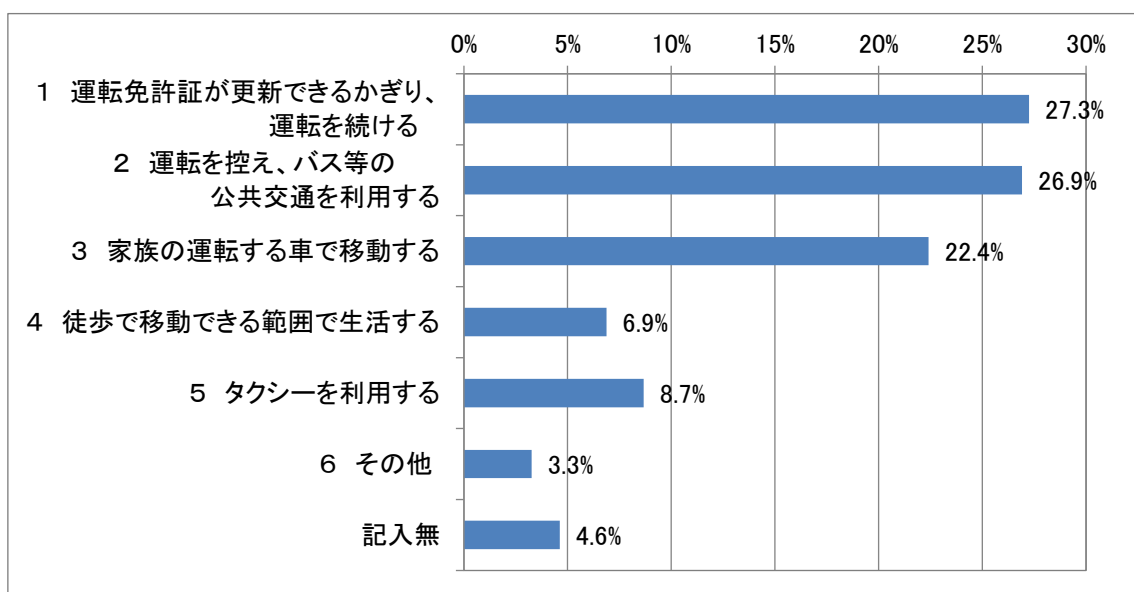
運転免許の保有状況については、82.4%が「車の運転免許証があり、主に車を運転している」と回答しました。次いで「運転免許証を取得したことがない」と回答した方が8.9%、続いて「運転免許証を持っているが、自主返納した」(2.9%)、「運転免許証を持っているが、運転はしていない」(2.4%)、「主にバイクを運転」(1.6%)の順でした。

(2) 車やバイクの運転免許証を持っている方にお聞きします。あなたは何歳まで運転を続けようと思いますか。



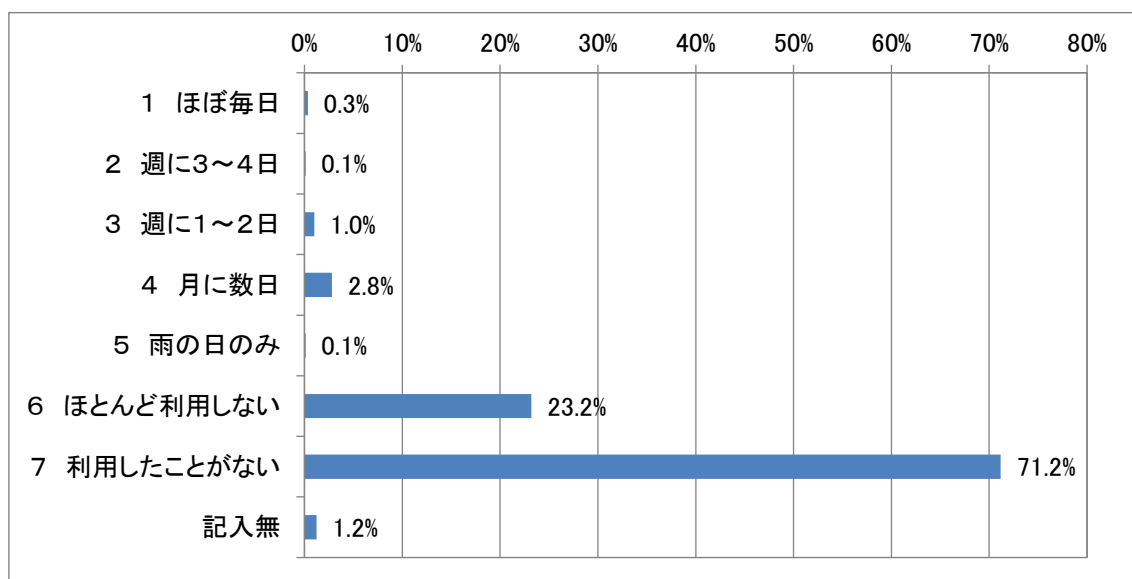
「何歳まで運転を続けたいか」では、「75～79歳」が最も多く26.2%、次いで「80～84歳」(22.1%)、続いて「70～74歳」の16.3%でした。他の回答は、1割に満たない結果でした。

(3) 高齢になり車やバイクの運転が不安になったとき、生活に必要な移動についてどう考えますか。



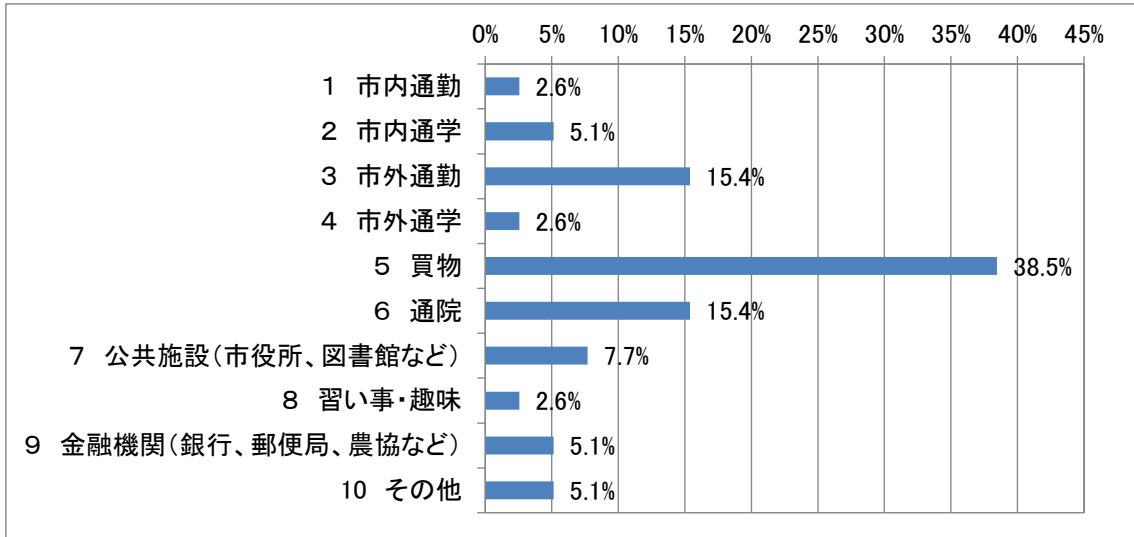
高齢になり車の運転が不安になった時の移動手段については、「運転免許証が更新できる限り、運転を続ける」(27.3%)と「バス等の公共交通を利用する」(26.9%)が約3割ずつ、続いて「家族が運転する車で移動する」が22.4%でした。「タクシーを利用する」「徒歩で移動できる範囲で生活する」は1割未満でした。

(4) 市内を走行している路線バスやコミュニティバスをどの程度利用していますか。



市のコミュニティバスの利用状況は、「利用したことがない」が最も多く71.2%、続く「ほとんど利用したことがない」(23.2%)と合わせると、94.4%が「(ほとんど)利用したことがない」という結果でした。次いで「月に数日」が2.8%でした。

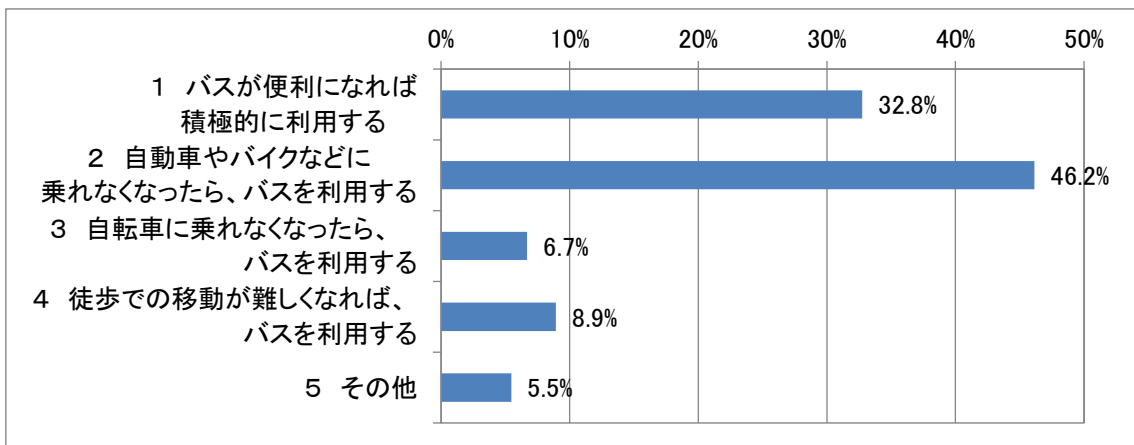
(5) (4)で「1～5」と回答した方にお聞きします。主にどのような目的で利用していますか。
 ※回答のあった数のうちの割合 (n=39)



コミュニティバスを利用していると回答した方に、どのような目的で利用しているか聞いたところ、「買物」が最も多く38.5%、次いで「市内通勤」と「通院」が15.4%、続いて「公共施設」(7.7%)、「市内通学」「金融機関」が5.1%でした。

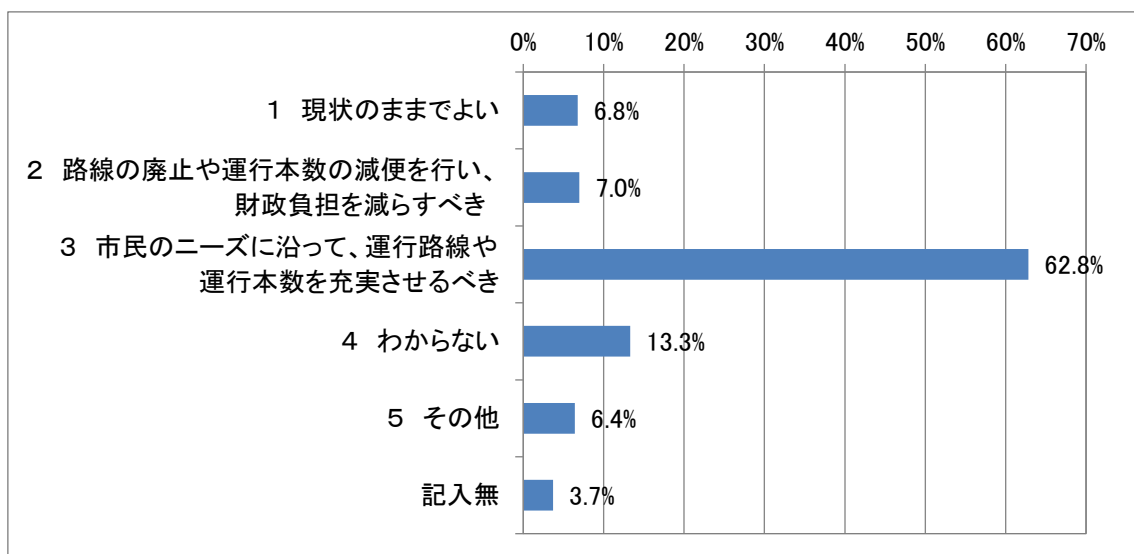
(6) (4)で「6、7」と回答した方にお聞きします。現在利用している交通手段をやめて、バスを利用する可能性についてお答えください。

※回答のあった数のうちの割合 (n=838)



コミュニティバスを「(ほとんど)利用したことがない」と回答した方に、現在の交通手段をやめてバスを利用する可能性について尋ねたところ、「自動車やバイクなどに乗れなくなったらバスを利用する」が最も多く46.2%と約半数、次いで「バスが便利になれば積極的に利用する」が32.8%で、この2つの回答で約8割を占めました。続いて「徒歩での移動が難しくなればバスを利用する」(8.9%)、「自転車に乗れなくなったらバスを利用する」(6.7%)の順でした。バスの利便性が高まればバスを利用したいと思っている方が3割、自動車・自転車・徒歩など他の交通手段での移動が難しくなったらバスを利用したいと思っている方が約6割、という結果でした。

(7) 市のコミュニティバスについて、高齢化が進行する中で、今後どのような方向で取り組む必要があるとお考えですか。

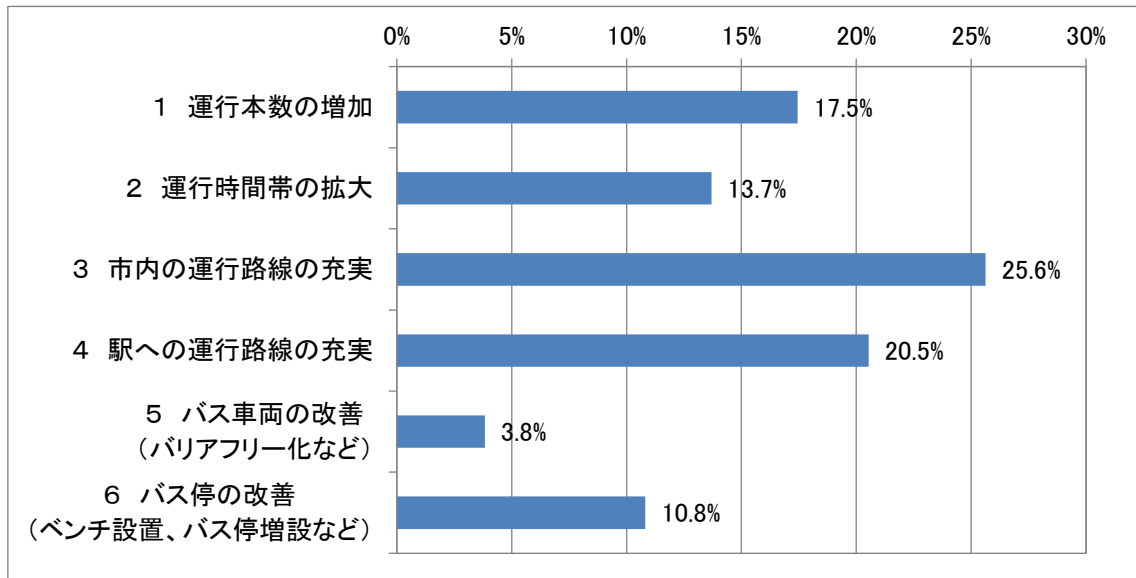


市のコミュニティバスの今後については、「市民のニーズに沿って、運行路線や運行本数を充実させるべき」が62.8%で最も多く、次いで「わからない」(13.3%)、続いて「路線の廃止や運行本数の減便を行い、財政負担を減らすべき」(7.0%)、「現状のままでよい」(6.8%)の順でした。

(8) 市のコミュニティバスの改善についてあなたが重要だと思うものをお選びください。

◎複数回答(2つ選択)

※全選択数のうちの割合 (n=1,358)



市のコミュニティバスの改善については、複数回答(2つ選択)で選択された1,358件の内訳は、「市内の運行路線の充実」が25.6%で最も多く、次いで「駅への運行路線の充実」(20.5%)、続いて「運行本数の増加」(17.5%)、「運行時間帯の拡大」(13.7%)、「バス停の改善」(10.8%)、「バス車両の改善」(3.8%)の順でした。

項目	No.	質問内容	選択肢
市民アンケート調査	19	地域の福祉サービスが安心して受けられると思いますか。	1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 どちらともいえない 4 あまりあてはまらない 6 あてはまらない
	20	地域で見守り、声かけなどの助け合いが行なわれていると感じますか。	
	21	南アルプス市は、子育てしやすいまちだ(安心して子育てができる環境が整っている)と思いますか。	
	22	南アルプス市は、老後も安心して暮らせると感じますか。	
	23	障がいのあるかたへの声かけ、見守りなどを行なっていますか。	
	24	各種健康診断などの健康づくり対策に満足していますか。	
	25	日常的に健康づくりをしていますか。	
	26	医療機関の救急医療体制に満足していますか。	
	27	安心して医療が受けられると感じていますか。	
	28	普段の買い物で積極的に地元農産物を購入(地産地消)していますか。	
	29	南アルプス市は買い物に便利な地域だと思いますか。	
	30	市内の道路の整備状況に満足していますか。	
	31	市内の道路は安全に利用できると感じますか。	
	32	道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか。	
	33	路線バスなど公共交通機関の運行状況に満足していますか。	
	34	公共交通で生活に必要な移動ができると感じますか。	
	35	市内の街並みや景観は、美しいと感じますか。	
	36	市内の景観を守り、育てるための活動に関心がありますか。	
	37	公園など子どもの遊び場の整備状況に満足していますか。	
	38	南アルプス市は、住みやすい地域だと感じますか。	
	39	南アルプス市に住み続けたいと感じますか。	
	40	水道の「水」は、おいしいと感じますか。	
	41	水道の利用に不便を感じますか。	
	42	趣味や娯楽なども含め、生涯学習活動を行なっていますか。	
	43	習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行なっていますか。	
	44	過去1年間に図書館や美術館などの市の文化施設を利用したかたにお聞きます。市の文化施設は、利用しやすいと感じましたか。	
	45	過去1年間に体育館などの市のスポーツ施設を利用したかたにお聞きます。市のスポーツ施設は、利用しやすいと感じましたか。	
	46	市内には守り伝えるべき豊かな歴史があると感じますか。	
	47	市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。	
	48	文化財や伝統芸能の保護や継承活動に満足していますか。	
	49	小学校・中学校の教育の内容に満足していますか。	
	50	地域の子どもたちに、あいさつや声かけなどを行なっていますか。	
	51	家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行なわれていると感じますか。	
	52	市役所が行なっている各種サービスに満足していますか。	
53	市役所の業務は効率的に行なわれていると感じますか。		
54	市役所の職員は、信頼できますか。		

項目	No.	質問内容	選択肢
市民アンケート調査	55	「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか。	1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない
	56	ハザードマップなどで、お住まいの地域で考えられる災害時の危険性を認識していますか。	
	57	平成26年6月に「南アルプス」がユネスコエコパークに登録されました。あなたは、ユネスコエコパークについてご存知ですか。	
	58	「多文化共生社会」とはどのような社会かご存知ですか。	
	59	生活に困ったとき、市役所に相談窓口があることを知っていますか。	
	60	「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の意味をご存知ですか。	
	61	「幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」をご存知ですか。	1 はい 2 いいえ
	62	住宅用火災警報器を設置していますか。	
	63	南アルプス(広河原)を訪れたことがありますか。	
	64	楡形山(伊奈ヶ湖周辺)を訪れたことがありますか。	
	65	子育て中のかたにお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか。	
	66	過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがありますか。	
	67	市役所の窓口は利用しやすいと思いますか。	
68	市役所の窓口対応や電話対応に満足していますか。	1 本庁 2 支所	
69	市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか。		
関公共交通調査	(1)	運転免許証はお持ちですか。	1 車の運転免許証があり、主に車を運転している 2 バイク(原付含む)の運転免許証があり、主にバイクを運転している 3 運転免許証を持っているが、運転はしていない 4 運転免許証を持っていたが、自主返納した 5 運転免許証を取得したことがない
	(2)	車やバイクの運転免許証を持っているかたにお聞きします。あなたは何歳まで運転を続けようと思いますか。	1 59歳まで 2 60～64歳 3 65～69歳 4 70～74歳 5 75～79歳 6 80～84歳 7 85～89歳 8 90歳以上
	(3)	高齢になり車やバイクの運転が不安になったとき、生活に必要な移動についてどのようにお考えですか。	1 運転免許証が更新できるかぎり、運転を続ける 2 運転を控え、バス等の公共交通を利用する 3 家族の運転する車で移動する 4 徒歩で移動できる範囲で生活する 5 タクシーを利用する 6 その他()
	(4)	市内を走行している路線バスやコミュニティバスをどの程度利用していますか。	1 ほぼ毎日 2 週に3～4日 3 週に1～2日 4 月に数日 5 雨の日のみ 6 ほとんど利用しない 7 利用したことがない
	(5)	(4)で1～5と回答したかたにお聞きします。主にどのような目的で利用していますか。	1 市内通勤 2 市内通学 3 市外通勤 4 市外通学 5 買物 6 通院 7 公共施設(市役所、図書館など) 8 習い事・趣味 9 金融機関(銀行、郵便局、農協など) 10 その他()
	(6)	(4)で6、7と回答したかたにお聞きします。現在利用している交通手段をやめて、バスを利用する可能性についてお答えください。	1 バスが便利になれば積極的に利用する。 2 自動車やバイクなどに乗れなくなったら、バスを利用する。 3 自転車に乗れなくなったら、バスを利用する。 4 徒歩での移動が難しくなれば、バスを利用する。 5 その他()
	(7)	市のコミュニティバスについて、高齢化が進行する中で、今後どのような方向で取り組む必要があるとお考えですか。	1 現状のままでよい 2 路線の廃止や運行本数の減便を行い、財政負担を減らすべき 3 市民のニーズに沿って、運行路線や運行本数を充実させるべき 4 わからない 5 その他()
	(8)	市のコミュニティバスの改善についてあなたが重要だと思うものを2つまでお選びください。	1 運行本数の増加 2 運行時間帯の拡大 3 市内の運行路線の充実 4 駅への運行路線の充実 5 バス車両の改善(バリアフリー化など) 6 バス停の改善(ベンチ設置、バス停増設など) 7 その他()

南アルプス市民憲章

緑かがやく自然を守り

なかよく美しい心を結び合い

未来にひらく豊かなまちをつくることを

アルプスの山々に誓います

後期基本計画策定のための市民アンケート調査報告書

発行日 令和元年 10 月

発行 南アルプス市役所

〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376

TEL 055-282-1111 (代) FAX 055-282-1112

<http://www.city.minami-alps.yamanashi.jp>

編集 総合政策部政策推進課